

官報號外

大正十三年七月十日

木曜日

印 刷 局

○第四十九回 衆議院議事速記録第八號

田中 善立君

古屋 虞隆君

岡本實太郎君

満蒙開發二關スル質問主意書

兒玉 右二君

提出者

(以上七月九日提出)

武富 済君

平沼 亮三君

大濱忠三郎君

提出者

(以上七月九日提出)

提出者

ス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス
○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告ノ通り可決セラレントヲ望ミマス

〔異議ナシ「下呼フ者アリ」〕

○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「下呼フ者アリ」〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

〔異議ナシ「下呼フ者アリ」〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案 第一讀會(確定議)

震災被害地ノ地租免除等ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)

〔高橋元四郎君登壇、拍手〕
○高橋元四郎君 只今議題トナッテ居リマス日程第三、砂防法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告申上ダマス、御付託ニナリマシテ本案委員會ハ七日八日ト連日ニ瓦リマシテ開會致シマシテ、内務當局者トノ間ニ數次ノ質問應答ヲ重ねマシテ、原案ニ對シテハ全會一致之ヲ可決致シマシタノデアリマス、尙少數ヲ以テ希望條件ヲ附帶決議トシテ致シマシタ、其希望條件ハ本案ノ對象タル相模川外四河川ト同一程度以上ノ河川、例へバ常願寺川ノ如キニ對シテニ本法ヲ適用セラレンコトヲ希望ス、之ヲ附帶ノ希望決議ト致シマシタガ、茲ニ常願寺川ト云フ書キマシタノハ、例ヘバト云フ文字ニ對シテ明カデアリマスガ、唯ニ其例ニ引キマシタ次第アリマス、一體本案ノ現行法ハ砂防設備ニシテ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲ニ必要ナルカ、又ハ其利害關係一府縣ニ止マラザル場合ニ於テノミ、從來主務大臣ガ之ヲ管理シ、其工事ヲ施行シ、之ヲ維持シテノタノデアリマスケレドモ、今回改正ノ動機ハ震災ニ伴フ所ノ神奈川縣ヲ始メトシテ、靜岡、山梨、東京府ニ於ケル是ト同様若クハソレ以上ノ河川ニ對シテ、當局者ハ案ヲ具シテ至急ニ此計畫ヲ樹テラレルヤウニト云フコトヲ、委員會ノ多數が要望致シマシタガ、政府ト致シマシテハ、是ガ現行法改正ノ近因デアリマスケレドモ、此法律ヲ將來適用シテ、全國各地ニ於ケル是ト同様若クハソレ以上ノ河川ニ對シテ、當局者ハ案ヲ具シテ至急ニ此計畫ヲ樹テラレルヤウニト云フコトヲ、委員會ノ多數が要望致シマシタガ、政府ト致シマシテハ勿論單行法ニ非ザル一般ノ法律ノ改正デアリマスカラ、將來此法文ヲ適用シテ、全國各府縣ニ於ケル所ノ同様ノ河川ニ、此砂防ノ設備ヲスルト云フコトハ其趣意ニハ異論ハナイケレドモ、常ニ之ニ伴フ豫算ガナイト云フコトニ對シテハ、中々ニ之ヲ聲明スルコトハ出來ナイ、全國各河川ノ水源地ニ對シテハ、ソレト砂防ニ必要ナル調査ハ殆ド遂ゲアルケレドモ、將來此經費縮小ノ場合ニ於テ、多クノ場合内務省ニ於テ此土木費ニ要スルモノ、經費ノ節減ヲサレルト

云フコトガ、縮小整理ノ場合ノ一般ノ慣ハシデアルカラ、近キ將來ニ起ルベキ行政財政ノ整理ニ依テ、更ニ内務省ノ土木事業ニ關係スル方面ノ經費ヲ縮小サレルト云

返シ説明セラレタノデアリマスケレドモ、此希望ノ實現ガ困難デアルト云フコトヲ繰

委員會ノ多數ハ今回ノ此砂防計畫ハ、震災ニ伴面ノ急ヲ要スル問題デアルケレドモ、此法文ヲ一般的ニ改正シタ以上ハ、將來サレルヤウニト云フコトヲ要望致シマ

シテ、質問討論ヲ打切テ、原案只今申上ダヤウナ附帶希望ヲ附シテ、決議ヲ致シマシタヤウナ次第アリマス、以上御報告致シテ置キマス(拍手)

○議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「下呼フ者アリ」〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

〔異議ナシ「下呼フ者アリ」〕

舊諸貨ニ屬スル豫算ノ施行ニ關スル法律案、及同ジク政府提出國債法中改正法律案、同ジク政府提出后籍法中改正法律案ヲ、此際特ニ逐次上程シテ議題ト爲シ、何レモ

メラレンコトヲ望ミマス

○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ「下呼フ者アリ」〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第一讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

〔異議ナシ「下呼フ者アリ」〕

○議長(柏谷義三君)

前項ノ擔保及保證人ニ關シテハ勅令ノ規定ニ依ル證據調査ヲ裁定ムル所ニ依ル

第一項及第二項ノ場合ニ於テ證券ノ記號不明ナルモノニ付テハ同一名稱ノ證券中適宜ノ記號ノモノヲ交付スルコトヲ得

第四條 前條ノ規定ニ依リ新證券ノ交付ヲ爲スヘキ場合ニ於テ滅失又ハ紛失シタル證券ノ償還期到来シタルトキハ政府ハ新證券ノ交付ニ代へ元利金ノ支拂

第五條 紛失ノ查定ヲ受ケタル證券ノ記號又ハ番號不明ナル場合ニ於テ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ニ因リ政府ニ損失ヲ生シタルトキハ同一名稱ノ新證券ノ交付ヲ受ケ又ハ之ニ代へ元利金ノ支拂ヲ受ケタル者ニシテ記號又ハ番號不明ナル舊證券ニ付紛失ノ查定ヲ受ケタルモノノ新證券ノ額面金額又ハ元利金ノ按分シテ其ノ損失ヲ負担ス

第六條 滅失又ハ紛失シタル同一證券ニ付第二條ノ規定ニ依ル查定ノ請求ニ以上アリタル場合ニ於テハ新證券ノ交付ハ請求者中震災ノ當時舊證券ヲ占有スヘキ權利アリタル者ニ之ヲ爲ス

第七條 売失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調査ヲ爲スコトヲ得

第八條 売失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ宣誓ヲ爲サシメタル上當事者ヲ訊問スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ宣誓ヲ爲シタル者虚偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十一年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ受クル前喪失國債證券審査會ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第九條 売失國債證券審査會ハ第七條及

前條第一項ノ規定ニ依ル證據調査ヲ裁定所ノ其他ノ官廳ニ囑託スルコトヲ得

第十條 売失國債證券審査會ノ組織及證據調其ノ他審査ニ關シ必要ナル事項ハ

第十一條 第一條ノ證券ニシテ震災ノ當時政府ノ保管シタルモノニ付テハ第二條乃至前條ノ規定ニ拘ラス勅令ノ定ムル所ニ依リ新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ爲スコトヲ得

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
〔政府委員小野義一君登壇、拍手〕

○政府委員（小野義一君）只今議題トナッテ居リマスル震災ニ因ル喪失無証名國債證券ノ救濟ニ關スル法律案ニ付キマシテハ、之ヲ滅失若クハ紛失致シタルモノ新證券ハ一切交付シナイト云フ定メニナツテ居ルノデアリマス、然ルニ今回ノ震災ニ依リマシテ滅失若クハ紛失致シタル無証名國債證券ハ、頗ル巨額ニ達シテ居ルモノト認メラレルノデアリマス、之ヲ其儘救濟ヲセズニ置キマスト云フコトハ、所有者ニ對シマシテ甚シク苦痛ヲ與ヘルコト、ナルノミナラズ、又一面震災地ノ經濟復興ヲ助成スルト云フ上ニ於テモ遺憾人ノ訊問其ノ他ノ證據調査ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ハ第四條ノ元利金ニ付之ヲ準用ス

第七條 売失國債證券審査會ハ審査ノ爲必要アリト認ムルトキハ證人又ハ鑑定人ノ訊問其ノ他ノ證據調査ヲ爲サシメタル上當事者ヲ訊問スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ宣誓ヲ爲シタル者虛偽ノ陳述ヲ爲シタルトキハ三月以上十一年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者新證券ノ交付又ハ元利金ノ支拂ヲ受クル前喪失國債證券審査會ニ其ノ事實ヲ申出テタルトキハ其ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

○作間耕逸君 本案ハ委員ノ數ヲ九名トシ、付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○議長（柏谷義三君）右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

〔賛成〕〔賛成〕〔ト呼フ者アリ〕

○議長（柏谷義三君）作間君ノ動議ニハ御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シニ致サナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ現在ノ規定ニ依リマシテハ、之ヲ處分スルノ途ガナインデアリマスカラ、大學特別設ケントスルノデゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ御願ヒ致シマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

ニナル土地が出て參ルノデアリマシテ、是等ノ不用ニナツタ土地ハ、之ヲ處分スルヤウニ致サナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ現在ノ規定ニ依リマシテハ、之ヲ處分スルノ途ガナインデアリマスカラ、大學特別設ケントスルノデゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ御願ヒ致シマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

ニナル土地が出て參ルノデアリマシテ、是等ノ不用ニナツタ土地ハ、之ヲ處分スルヤウニ致サナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ現在ノ規定ニ依リマシテハ、之ヲ處分スルノ途ガナインデアリマスカラ、大學特別設ケントスルノデゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ御願ヒ致シマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

ニナル土地が出て參ルノデアリマシテ、是等ノ不用ニナツタ土地ハ、之ヲ處分スルヤウニ致サナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ現在ノ規定ニ依リマシテハ、之ヲ處分スルノ途ガナインデアリマスカラ、大學特別設ケントスルノデゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ御願ヒ致シマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

ニナル土地が出て參ルノデアリマシテ、是等ノ不用ニナツタ土地ハ、之ヲ處分スルヤウニ致サナケレバナラヌノデアリマス、然ルニ現在ノ規定ニ依リマシテハ、之ヲ處分スルノ途ガナインデアリマスカラ、大學特別設ケントスルノデゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ御願ヒ致シマス（拍手）

○議長（柏谷義三君）右議案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

セラレ前内閣ノ編成セラレタル所ノモノニ
二、三ノ訂正ヲ加ヘテ、一般ニ訂正ヲ加ヘル
時間ノ餘裕ナカリシ爲ニ之ヲ踏襲シタ、此理
ニ古今未會有ノ厖大ナ豫算ト申サナケレバ
ナラヌヤウニ相成ルテ居ルノデアリマス、斯ノ如
ク致シマシテ、實行豫算ト追加豫算トヲ合
計スレバ十六億一千万圓餘デアリマス、實
ニ大正十七年マデ五箇年ノ間ニ求メラレル
而シテ十三年度ニ於テ四千四十万圓餘ヲ追
加要求サレテ居ルト云フ次第ニナッテ居リ
マス、第二號案ノ如キ一億二千二百三十五
万六千六百七十五圓ガ十三年度ニ屬スルモ
ノデゴザイマスガ、其實七億五百九十万圓、
之ヲ大正二十二年マデ十箇年ニ支出スルト
云フコトニ相成ルテ居リマシテ、其内一億二
千二百万餘ヲ大正十三年度ノ追加豫算トシ
テ求メマシタ、第三號案ハ一億二百九十七
万三百三十五圓、是ハ全ク震災ニ關係ノ無
イ各省ニ厚タ經費デアリマス、斯ノ如ク大
正十三年度ニ求メラレテ居ルモノハ二億六
千万圓餘デゴザイマスガ、後數年ニ繼續シ
テ來マスルノト、實行豫算其モノハ當議會
ニ於テノ審議ヲ經テ居ラヌ次第ノモノデゴ
ザイマスルカラ、今回ノ豫算委員會ハ日數
ノ少イニ拘ズ、極メテ關聯スル所ガ廣ウゴ
ザイマシテ、之ガ爲ニ委員ハ兩日間午前午
後ニ通ジ、尙ホ其一日ハ午前九時ヨリ午後
六時過ギマデ審議ヲ繼續シ、而シテ尙ホ二
日間ヲ分科會ニ移シマシテ、午前午後ニ度
テ曰曜日マデモ濱シテ審議ヲ重ネタ次第テ
ゴザイマス、デ斯ノ如キ譯デゴザイマスル
カラ、委員會中ニ極メテ熱誠ナル質問應答
ガ繰返サレタノデアリマス、其質問應答ノ
中將來ニ關係スル所ノモノヲ引上ゲテ御紹
介ヲ致シ置キタイト存ズルノデアリマス、
此本案ニ對シテ直接ニ關係致ス所ノ質問ハ
收入豫算ノ中租稅五千四十八万八千九百五
十五圓ト云フモノハ、大正十一年並ニ十二
年ノ實際ニ當嵌メテ見テ、或ハ見積リガ多

ウ過ギテ、其結果不足ヲ來ス虞ハナイカト
云フ質問ガ出タノデアリマス、極メテ此
事ハ大切ノ事柄ト思ウタノデゴザリマスル
ガ、之ニ對シテハ大藏大臣ハ、大正十一年
ノ租稅ノ收入ハ八億九千六百万圓トナッテ
居ル、十二年度ノ最近ノ實況ヨリシテ收入
見込ヲ立テ、見ルト七億八千六百万圓ニ減
ジテ居ル、十三年度ハ更ニハ減少スルモ
ノトシテ、サウシテ今回豫算ニ組入レタ五
千四十万圓ヲ加ヘテ見テモ七億六千二百万
圓ニシカナラナイノデアル、加之是ハ各租
稅ノ課目毎ニ夏ニ震災後已ニ數月ヲ經過
シタ所ノ實際ニ基イテ、實行豫算ニ比較シ
テ其減ズベキモノヲ尙ホ減ズルト見テ、十
分據ドコロアル所ノモノニ依ツテ編成致シ
タノデアツテ、必ず不足ヲ告グルナドト云フ
虞ハナイト、而シテソレヲ尙ホ確メルカ爲
ニ追加豫算ノ租稅ニ對スル説明書ヲモ交付
セラレタ次第ゴザイマスルカラ、此點ニ
對スル不安ノ念ハ取去ラレタコトデアラウ
ト思フノデゴザイマス、其他豫算ニ直接ノ
關係ナカシテ内閣其モノニ對シテ、今日ノ
内閣ハ曩ニ政見ヲ異ニシタ政黨ヲ打ンテ
一團トシテ居ルガ如キ内閣ニナツテ居ルカ
テ、普通選舉ノ問題、或ハ社會問題、其他
重用ノ問題ノ上ニ統一ヲ缺クデアラウ、斯
ウ云フ將念ヲ懷カレタ質問ガ、餘程長ク繰
返サレタノデアリマスルガ、此事ニ關シテ
ハ本議場ニ於テモ總理大臣ヨリ説明モゴザ
イマシタト存ジマスルカラ、今私ハ多クヲ
繰返ス必要ハナイト存ジマスルガ、要ハ必
ズ統一致シタ所ノ重要ノ政策ヲ樹テ、之
ヲ實行スルヤウニシテ御目ニ懸ケル、暫ク
見テ居シテ貴ヒタイト云フコトニ歸着致シ
タヤウニ存ズルノデアリマス、其他ハ貿易
ノ振張、輸入ノ防遏、或ハ農村ノ關係、農
務省ノ獨立、米穀法ノ運用ト云フガ如キコ
トニ亘テノ質問ガ繰返サレタノデゴザイ
マスルガ、農村ノ振興ニ關シテハ、金融ノ
コト、又振興方策等ニ付テモ政府ハ現在ニ
満足スルニ非ズシテ、十分ノ考慮ヲ爲シツ
ツアルノミナラズ、今後ニ於テ行政、財政
ノ緊縮整理ト共ニ相當ノ政策ヲ樹ツルコト

勿論デアルダ、農村ノ金融ノ如キニ至テハ、
是ハ主トシテ農村ノ組合ト云フモノガ出来
ナケレバ、即チ金融ノ信用ト云フモノヲ拵
ヘナケレバ金融其モノハ付ク道理ハナイ、
信用其方法ヲ立テサヘスレバ、現在ノ機關
ニ於テモ金融ノ途ハ付クノデアリマス、又
ニモナラナイ、即チ農村振興ノコトヲ行ヒ
得ル方法ノ立タ時ニ於テ、之ヲ獨立セシム
ルノ必要ガアルデアラウ、其必要ノ生ズル
ヤウニ一日モ早クナルコトヲ期待シテ、是
ハ次ノ議會ニ成ベクサウ云フ風ニナッテ來
ルコトヲ望ンデ居ルト云フ農商務大臣ノ聲
明デア、タノデアリマス、又米穀法ニ關シテ
ハ、從來量ノ上ニノミ考慮ヲ加ヘ、價格ノ點
ニ對シテ閑却ヲシテ居ル、今日此米ノ價ノ
他ノ物價ニ比較シテ安キニ苦シニデ居ル狀
況ニ對シテハ、即チ價格ノ點ニ對スル考慮ヲ
拂テ居ラヌ結果デアル、此米價ヲ相當ニ維
持スルト云フコトハ、米穀法運用ノ點ニ於
テ出來得ル事ヲシテナカタノデアル、從來
スペキ事ヲセナカタ爲ニサウナッテ居ルノ
デアル、今後ハ其スヘキ事ヲ爲スコトニ依シ
テ、農村ノ幾分ノ救濟ヲシ得ルト信ズル、壓迫
ヲ受ケタガ爲ニ經濟界ノ整理ガ出來ナイ、
其他ノ諸問題ニ對シラハ今日マデ民間經濟
ニ相應シナイ所ノ財政ノ膨脹ガ繰返サレ、
是ガ爲ニ經濟界ハ常ニ壓迫ヲ受ケル、壓迫
ヲ受ケタガ爲ニ經濟界ノ整理ガ出來ナイ、
整理ガ出來ナイカラ安定ヲシナイ、安定ヲ
シナイカラ發展ヲシナイ、故ニ經濟界ノ自
然ノ發展ヲ促ス、爲ニハ、財政上ノ壓迫ヲ
取除クト云フコトガ最モ緊急ノ事柄デアル、
即チ行政ノ整理並ニ財政ノ一大整理ヲ致ス
ト云フ所ノ趣旨ハ此ニ在ルノデアル、然レ
ドモ此行政財政ノ整理其モノハ、民間經濟
界ヲシテ政府ノ意ノ在ル所、爲ス所、之ニ刺
戟セラル、ト同時ニ、之ト相呼應シテサウ
シテ勤儉力行ヲ促シ、貯蓄心ヲ増加シテ資
本ヲ増スト云フ方ニ向ハナケレバ、政府ノ
力ニノミ儀ツテ以テ此目的ヲ達スルコトハ

出來得ナイ、然レドモ財政經濟ノ緊縮整理ヲスルト云フ事柄ダケデ、民間其モノガ必ズ整理發達ノ效果ヲ擧ゲルト云フコトモ出来得ナイカモ知レナイカラ、是ハ有ユル手段キ小額ナル割増附ノ方法ノモノヲ發行シ貯蓄心ヲ獎勵シ、又一面ニ奢侈ノ風ヲ矯正スル爲ニ奢侈品三對スル關稅ノ引上ヲ行フ、固ヨリ是等ハ之ニ依テ關稅ノ增收ヲ期スルト云フ目的ハ更ニ持タヌノデアル、之ニ依テ財界ノ各方面ニ瓦ル所ノ精神上ノ刺戟トモナリ、緊縮トモナルコトヲ得レバ幸ト云フニ過ギナイ、然レドモ此事ハ大正十四年ヨリ實行ニ掛ル外ハナイノデアリマス、サリナガラ十四年ノ豫算ヲ編成スルマデ此儘ニシテ置クト云フ必要ハナイ、此豫算案ガ通過スルト同時ニ、本案ニ對シ竝ニ實行豫算ニ對シ、出來得ル限ノ整理緊縮ノ方針ヲ實行致ス、斯ウ云フコトヲ屢々繰返シテ言明ヲサレタノデアリマス、即チ二億六千萬餘ノ追加豫算ニ對シテ、豫算委員ノ意見ノ決まりマシタ所ノモノハ、此説明ニ信賴スル所ノモノガ最モ大デアッコトモ間違ハナイト思フノデアリマス、又委員ノ一人ヨリシテ、大正十七年マデハ公債募集ヲ當見合ハスト云フコトデアルガ、其後ニ於公債ノ十億圓餘ノ此公債ニ對シ、其元利收支ノ如何ニスルカト云フ質問ニ對シマシテハ是ハ今後殊ニ大正十四年度ノ豫算編成ニ當テ十分ノ緊縮ヲ爲シテ、公債ヲ財源ニセナケレバナラヌヤウナ部分ニ對シテモ、成ベク公債ヲ募ラズシテ以テ此緊縮シタ所ノモノヲ以テ充當シ得ル方針ヲ執ル積リデアル、併ナガラ此處ニ數字ヲ備へ、此際斯クタタノ金額ヲ產ミ出スト云フコトヲ申ス機會アリマス、其他御紹介ヲ致シテ置キタインニ陸軍ニ對シテハ、陸軍費ニ對シテハ先年本會于テ金額マデ決定シテ、緊縮ヲ要求マシタ次第モアルノデアリマスガ、其金額

デニハ無論達スルマデノ節約ヲスルカト云
ア輝旨ノ質問ニ對シテハ、三千二百萬圓バ
カリノモノハ先ニ節約シタガ、今後其當時
ノ決議ノ金額マニ達スルヤ否ヤト云フコ
トハ豫言ハ出來ナイガ、兎ニ角陸軍トシテ
ハ從來兵數ノ上ニ重キヲ置イテ來タト云フ
コトハ宜クナイト云フコトヲ考ヘタ、今日ニ
於テハ或ハ航空機トカ、或ハ毒瓦斯ノ事ト
カ、種々ノ科學的軍器ノ發達ヲ爲シ來ル時
デアルガ故ニ、兵數ニ重キヲ置カズシテス
カル科學的發展ニ基ク所ノ器具ニ對シテ重
キヲ置ク方針ニ改メタイト考ヘルノミナラ
ズ、陸軍大臣ハ今後内務大臣、文部大臣ト
モ交渉ヲ致シテ、成ベク義務教育ノ上ニ一
大改善ヲ加ヘ青少年ニ對シテ訓練ニ重キヲ
置イテ、新兵ガ入營ノ後多クノ日子ヲ在營
スルコトナク、之ヲ歸休セシムル、或ハ是ガ
爲ニモ常備兵ヲ減ズルト云フガ如キコトマ
デ行ケルカモ知レナイ、要スルニ義務教育
ノ上ニ改善ヲ加ヘルト云フ説明ガアッタノデア
リマスガ(發言スル者アリ)彼處ニ何カ言葉
ヲ發セラレタ方ガアッタヤウデアリマスガ、
大臣ニ向テ交渉ヲ進メテ、其目的ヲ達スル
ヤウニ致シタイト云フアリマスガ、之ヲ
望フ持テ居ル、此希望ハ内務大臣竝ニ文部
大臣ニ向テ交渉ヲ進メテ、其目的ヲ達スル
ノ上ニ改善ヲ加ヘルト云フコトニ大ナル希
スルコトナク、之ヲ歸休セシムル、或ハ是ガ
爲ニモ常備兵ヲ減ズルト云フガ如キコトマ
デ行ケルカモ知レナイ、要スルニ義務教育
ノ上ニ改善ヲ加ヘルト云フ説明ガアッタノデア
リマスガ(發言スル者アリ)彼處ニ何カ言葉
ヲ發セラレタ方ガアッタヤウデアリマスガ、
兵主義ニナルコトヲ期待シテ居ル、即チ義
務教育ノ發展ト云フコトノ爲ニ、常備兵ノ
費ノ上ニ重大ナ關係ヲ持シテ來ルコトニア
ルト思テ居ル(拍手起ル)私ハ從來國民皆
ヲ陸軍大臣ノ口ヨリ、吾々ノ口カラ求メズ
コトヲ平生考ヘて居タノデアリマスガ、之
ヲ陸軍大臣ノ口ヨリ、吾々ノ口カラ求メズ
シテ發ラレルコト、云フモノハ、洵ニ私ハ
將來ノ上ニ一大望ミテスルコトデアルト
考へテ居リマス(拍手)又海軍ニ對シテモ海
軍大臣、尙ホ陸軍大臣ノ御言葉ニモアッタ
ノデアリマス、鐵道ニ對シテハ是モ將來ニ關
係ノアル事ト存ジマスカラ、一應申上げテ
置キマスガ、今回ノ豫算ハ曩ニ決定シテ居

ル事項ニ對シテ、一車百人ニ對シテ先ニハ三人十人位ニ當ツタモノデアルガ、今日ハ五十人乃至八十人ニ達シテ居ル、而モ二回程運賃ヲ引上げテ、言ハゞ乗客ニ對シテ設備ノ改善ヲ加ヘズシテ賃金ヲ強要致シタト云フ如キ議論モアル位デアリマス、故ニ今後此一大缺陷ニ對シテハ此儘デハイケヌノデアル、一大改善ヲ加ヘナケレバナラヌ、隨テ既定ノモノニ對シテモ變更ヲセナケレバナラヌト云フコトガ起ラウト思フ、斯ウ云フ説明デアッタノデアリマス、以上質問應答ニ對スルコトハ斯様デゴザリマシテ、次ニ討論ニ入テ採決ヲ致シマシタガ、採決ニ當ツテ第三號ノ追加豫算ニ對シテ、吉種庄一郎君ヨリ政務次官設置ニ關スル經費三万九千七百七八圓、及特第二號、鐵道ニ關スル方デアリマス、此經費四千三百三十三圓、之ヲ削除スルト云フ動議ガ出タノデアリマス、採決致シマシタ所少數デアリマシテ、否決致シマシタ、其他ハ全部原案ノ通り決定ヲ見タノデアリマス、此原案ノ通り決定ヲ致シタ所ノモノヲ、豫算ノ式ニ當嵌メテ見マスト、歲入ノ經常部ガ五千七百四十三万四千四十八圓、臨時部デ二億八百二十九万七千三十五圓、歲出ニ於テ經常部ガ七千三百二十八万一千百二十九圓、臨時部ガ一億九千二百四十四万九千九百五十四圓、斯様ニ相成ルノデアリマス斯ノ如クシテ悉ク原案ヲ可決致シタノデアリマス、此他ニ警告ヲ二ツバカリ提出サレタモノガゴザイマスガ、是ハ少數デ成立チマセヌノト、本會ニ於テ意見ヲ述ベルト云フ言葉デゴザイマシタカラ、此處デ報告ヲ省略致シマス、以上ノ次第デゴザイマスカラ、本議場ニ於テモ御贊成アランコトヲ希望致シマス(拍手起立)○議長(柏谷義三君)此際質議ヲ許シマス、松田源治君、一寸御説リ致シマス、熊谷直太君ヨリ小作調停法ノ委員會ヲ開キタイト云フコトデアリマスガ、是ハ許可シテ差支ナイト思ヒマス

○議長(柏谷義三君) 許スコトニ致シマス
〔松田源次君登壇、拍手起ル〕
○松田源治君 私ハ總理大臣ニ對シマステ、政務次官設置ニ關スルコトニ就テニツノ質疑ガ致シタインデアル、ソレハ政務次官ヲ新設スレバ事務次官ハ自由任用トスルノデアルカト云フコトヲ承リタイ、第二ニハ昨日豫算總會ニ於キマシテ政友會ノ秦豐助君スル者ニ非ザレバ任用シナイ、即チ資格任用トスルノデアルカ、自由任用トスルノデアルカト云フコトヲ承リタイ、第一ニハ昨ガ政務次官ニ贊成意見ト致シマシテ、今回ノ政務次官ハ大隈内閣ノ時ノ參政官トハ職務權限が違フテ居ルノデアル、大臣ト同ジャウナ事ヲサセルノデアルト云フコトヲ申シマシタガ、果シテサウデアルカドウカ、大隈内閣ノ時分ノ官制ハ、各省官制通則ニ依リマスレバ「參政官ノ職務ハ大臣ヲ佐ケ帝國議會トノ交渉事項ヲ掌理ス」ト云フコトガアルノデアル、是レ以上ノ職務ヲスルトナレト、事務次官ノ職務ヲ如何ナル程度ニ分割スルノデアルカドウカ、又大隈内閣ガ參政官ヲ設置シタ時分ニ、臨時代理大臣ノ臨時代理ヲスル場合ニハ次官ガシテ居ル、即チ法律勅令ニ副署スルトカ、省務ヲ上奏スルトカ、或ハ閣議ニ列スルトカ、省令ヲ發スルトカ云フコトヲ除ク以外ハ、大臣ノ事務ヲ臨時ニ次官ニ代理サシテ居ツタノデアル、此代理ハ政務次官ニサセルノデアルカ、事務次官ニサセルノデアルカ、此事ハ既ニ豫算ヲ要求シテ居ルノデアリマスカラ、行政整理トカ或ハ綱紀ノ肅正トカ云フヤウ十三派ガ一致シテ居ナイト云フコトモナカラウト思フ、一致シテ出シタ事デアリマスカラ、官制ヲ改革シ、各省官制通則ヲ改正スルニ就テ、如何ナル改正ヲ爲スノデアリマスカ、此點ニ向テ明瞭ナル議場ニ徹底スルヤウニ御答辯ヲ願ヒタイ(拍手)
○國務大臣(子爵加藤高明君) 議長
○議長(柏谷義三君) 加藤内閣總理大臣
〔國務大臣子爵加藤高明君登壇〕
○國務大臣(子爵加藤高明君) 只今ノ御尋

ニ對シテ御答致シマス、事務次官ハ自由任用ニスルヤ否ヤト云フ第一問デアッタト思ヒマス、是ハ自由任用ニハ致サヌノデアリマス、矢張現行ノ任用令ニ依ツテ採用スル積リデ居リマス、ソレカラ奉君ノ御尋ニ對シテ私ノ答ヘタ事カラ、或ハ右ノ如キ疑ガ起ツタカモ知レマセヌガ、奉君ノ御希望ハ私ノ解シタ所ニ依リマスト、現今ノ文官任用令ニ對シテ多少ノ改正ヲ加ヘタラドウカト云フ御意思デアッタト思フ、故ニ人材ヲ廣ク世上ニ求メルコトハ固ヨリ異論ハナイ、行政整理ノ際ニ十分ニ調査研究致シテ、其結果ニ依ツテ相當ノ處置ヲ執ルト云フコトヲ説明致シタノデアリマスガ、是ハ事務次官ニ限タ事デハナインデアリマス、事務次官ヲ自由任用ニスル趣旨ヲ御答シタノデハナイトス様ニ御承知ヲ願ヒタイ、ソレカラ大臣ニ代テ云々ト云フコトハ何レ此豫算ガ帝國議會ノ協賛ヲ得マシタナラバ、官制ヲ定メルコトニ致シマスカラ、ソレニ依ツテ御承知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松田源治君 サウシマスルト官制ノ根據ハ決マッテ居ナイト云フコトニ、承知シテ宣シウゴザイマスカ、官制ハ今日具體的ニハ決マッテ居ナイ、サウ云フコトニ承知シテ宣シウゴザイマスカ〔答辯ノ必要ナシ〕ト呼フ者アリ)

○議長(柏谷義三君) 答辯ハアリマセヌ

○松田源治君 答辯ハナインデスカ

(「答辯ハ出來ナイノカ」「ト呼フ者アリ」)

○議長(柏谷義三君) 元田肇君ヨリ成規ノ賛成ヲ得テ、第三號大正十三年度歲入歲出總豫算追加案、及特第二號大正十三年度各特別會計歲入歲出豫算追加案、此兩案ニ對シテ修正案ガ提出サレテ居リマス、此修正案ノ趣旨辯明ヲ許シマス——松田源治君

〔松田源治君登壇、拍手起ル〕

ヲ來スモノノデアルト考ヘルノデアル、職務
權限ニ於テ如何ニ定メルカ分リマセヌケレ
下モ、現内閣ハ答辯致サヌノデアリマスガ
如何ニ定メルノカ分リマセヌケレドモ、事
務次官ト政務次官ハ、事務政務ノ區別が明
確ナラズシテ、其事件々々ニ付テ職權ニ付
シテ行政組織ノ紛更フ來ス所ノ弊害が起ル
モノト私ハ考ヘルノデアリマス（拍手）ソレ
カラ第四ニハ此現内閣ハ行政整理ヲ根本的
ニスルト云フコトヲ政綱ノ一二致シテ居ル
ノデアル、然ルニ斯カル無用ノ官ヲ設ケテ
職務ノ權限ノ明カナイ所ノ官職ヲ設ケタ
時分ニハ、政務次官モ書類ヲ見、事務次官
モ書類ヲ見ル、ソレデドウシテ事務簡捷ト
能率ヲ舉タルコトガ出來マスカ、ソレダケ
事務が纏帶スル、而シテ冗官ヲ置タ結果冗
費ニナリマシテ、行政財政ノ根本的整理ヲ
スルト云フ所ノ政綱ニ反スル所ノ結果ヲ生
ズルト思ヒマス、又政務次官、事務次官ノ
區別ヲ爲スノハ、我ガ國情ニ適シナイモノ
ト考ヘルノデアル、ソレハ憲法第五十四條
ニ依リマスレバ、國務大臣及政府委員ハ何
時タリトモ兩院ニ出テ發言ガ出來ルノデア
ルガ、此政務次官、事務次官ノ區別ヲ設ケ
テ兩官ヲ置イテ居ルノハ、世界ニ英國以外
ニハアリマセヌ、加藤總理大臣ハ英國ノ眞
似ヲスルノデハナイト言ヒマスルケレド
モ、英國以外ニハ無イ、英國ノ制度ヲ參考
ニシテ居ルノデアラウガ、ソレハ國情ガ違
フノデアル、即チ英國ニ於テハ私ガ質疑ノ
時ニ述ベマシタ通り、英國ニ於テハ一年ノ
間國會ヲ開オテ居ル、國會次官——政務次
官トハ申シマセヌ——國會次官、事務次官
ヲ要シマスクレドモ、日本ノ議會ハ僅ニ三
箇月デゴザイマスカラ、事務次官ト政務次
官ヲ設ケテ大臣ノ貴族院カラ出身シテ居ル
時分ニ、衆議院カラ次官ヲ採り、衆議院カラ
大臣ガ出ラレテ居ル時分ニハ貴族院カラ
國會次官ヲ採ルテ、其省ノ方針ヲ説明サセル

ト云フコトヲ吾々ハ惧ル、ノデアリマス、又區割整理委員ニ重要ナル借家人ヲ加ヘテ居ナイカラ、紛議ヲ醸シマシテ區割整理ノ遂行ニハ頗ル困難ヲ生ズルコト、考ヘルノデアリマス、豫算委員會ニ於キマシテ、若櫻内務大臣ガ此豫算ノ範圍内ニ於キマシテ責任ヲ以テ善處シテ、追加豫算ヲ出サヌト云フ事デアリマスカラ、此言責ニ鑑ミマシテ、特ニ政府ハ深甚ノ注意ヲ拂ヒマシテ、遺憾ノナカランコトヲ期シテ貴ヒタイト云フノガ、警是呈文ノ趣意デアリマス、此警告文モ朗讀致シマス「帝都復興計畫ト其豫算トハ權衡ヲ失シ殊ニ移轉料補償金等ハ甚夕其當ヲ得ス爲メニ豫算ニ巨額ノ不足ヲ生スルノ虞アルノミナラス區割整理地區内ノ利害關係者多數ノ意思ニ重キヲ置カサルヲ以テ實行不能ニ陥リ且シ思想ニ惡影響ヲ惹起スル憂ナシトセス若櫻内務大臣カ必ス此豫算ノ範圍内ニ於テ善處ストノ言貢ニ顧ミ茲ニ贊意ヲ表スルト雖モ政府ハ特ニ深甚ノ注意ヲ拂ヒ毫モ遺算ナカラシコトヲ警告ス」此二警告ヲ發シマシテ、政務次官設置以外ノ豫算ニハ贊成スルノデアリマス、私ハ政務次官ノ費用ヲ全部削除シ、及此警告ヲ爲ス所ノ大要ヲ説明シタノデアリマスカラ、諸君子御賛成ヲ望ミマス（拍手起ル）○議長（柏谷義三君）是ヨリ討論ニ入りマス、通告願ニ依シテ發言ヲ許シマス、町田忠治君

會計ヲ合セマシテ公債金額ニ於テ二億九千
万圓、甚ダ大ナリトハ申サレマセヌ、サレ
相成リマスニ付テハ、吾々ハ出來ルダケ懼
重審議スルノ必要ガアリマス、而シテ只今
政友本黨ヲ代表セラレタル松田君ノ修正意見
見ニ依リマシテモ、政務次官ニ關スル數万
圓ノ金高ヲ削除スルノ外、全部之ニ同意ヲ云
表サレタト云フ、此一事ニ徵シマシテモ此
豫算ハ刻下已ムヲ得ザル 經費ニ依テ出テ
居ルト云フコトヲ、政友本黨ニ於テモ諒ト
セラレタコト、私ハ信ジマス(拍手)唯ニ十
三億ニ上ル大豫算デアル爲ニ、吾々ハ此豫算
ヲ賛成スルニ付キマシテ一二希望ノ大要ヲ
申述ベル必要ガアリマスガ、其前ニ當テ只
今政友本黨ヲ代表サレテ松田君ノ修正意見
ヲ出サレマシタ點ニ一言致シテ置キタイト
思ヒマス、併セテ其二箇ノ警告ニ對シテモ
附言致シタイト思ヒマス、政務次官ヲ新設
シテ事務政務ノ區別ヲ保障スル爲ニ、政務次官
ヲ置クノ必要アリト述ベラレタル此一言
ハ、此處ニ千万言ヲ費スト同シ效力ガアリ
マス、松田君ハ只今事務ノ繼續性ニ對シテノ
ミ論ゼラレタヤウデアリマスガ、吾々ガ事
務ノ繼續性ト同様ニ必要ヲ思フノハ國務ノ
公正デアリマス、此公正ニ對シテハ政務トシテ
事務ノ區別ヲスル必要ガアルトシテ、私ハ只
ニ對シテ是レ以上ニ豫算ヲ出サナイト云フ
御警告デアリマス、農村振興ノ問題ハ國論
ハサレタノハ農村振興ノ問題、及復興事業
マセヌ、總理大臣ガ施政ノ方針ノ演説中ニ、

農村振興ニ對シテ言及セザリシ故ヲ以テ、現内閣ハ全國多數ヲ占メテ居ル農村ニ對シテ冷淡ナル如ク論ゼラレマシタノハ、聊カ其見解ヲ誤シテ居ルト思フ、吾々ハ農村振興ニ對シテハ種々ナル方案ヲ持テ居ル、種々ナル、政策ヲ持テ居ル、併ナガラ之ヲ實現スルニハ國費ノ増加、經費ノ伴フモノ多キヲ遺憾トシマス、現ニ我ガ憲政會ハ現内閣成立ノ後ノ大會ニ於キマシテ、政綱五箇條ヲ發表シテ天下ニ聲明シタノデアリマス、其主ナル政綱ノ一ハ農村振興デアッテ、當時總裁トシテ此大會ニ臨マレタ現總理大臣モ、我黨ノ政綱ニ於ケル農村振興ノ政綱ニ對シテハ、満腔ノ同情ヲ表セラレテ居ルコトガ是デモ明カデアリマス（拍手起ル）又此度ノ豫算ヲ御覽ナサイ——此度ノ豫算ヲ御覽ナサイ、農村ニ關スル費目ハ少クアリマセヌ、殊ニ大藏大臣ガ經濟復興公債トシテ一億萬圓ノ發行ヲスルコトノ政策ヲ茲ニ示サレタ、其一半ハ、地方產業、就中農村振興ニ用ユルト云フ趣意ヲ明カニサレタ一事ニ依テモ、現内閣ハ農村振興ニ對シテ深甚ナル注意ヲ拂テ居ルト云フコトノ證據アリマス（拍手起ル）又復興貯蓄債券一億万除イテモ復興關係ノ經費ト今後五箇年ニ亘テ十三億圓以上ヲ國民ハ負擔致シテ居リマス、是ハ豫算ノ範圍内ニ於テ既定ノ目的計畫ヲ完成スルノ責任ガアルコト勿論デアリマス、而シテ全國民ガ十三億ノ大豫算ヲ帝都復興、震災救濟ノ爲ニ資マザリシノ故ヲ以テ、行政ノ整理、財政ノ整理ト相俟テ當局者ガ具體的農村振興ノ案ヲ提出スルマデ、當局者ノ言明、及當局者ノ責任ニ之ヲ任せ、故ラニ茲コトヲ吾々ハ確ク信ジテ居リマスルガ故ニ、暫ク

ニ恰モ不信任案ニ近キ警告ヲ附スルコトノ
必要ナイト信ジマス、更ニ吾々ハ此十三億
ニ達スル大豫算ニ對シテ全部協賛ヲ表スル
希望ノ一トシ、贊成スル理由ノ主ナル箇條
トシテ茲ニ一言致サナケレバ相成ラヌノ
ハ、今年ノ實行豫算ニ對スル希望アリマ
ス、諸君ガ御承知ノ通り本年ノ豫算ハ曩ニ
委員長報告ノ如ク、大藏省發表ノ概表ニ
依レバ十六億千万トアリマス、サリナガラ
將來吾々ノ協賛ヲ得ベキシテ既ニ支出セラ
レタル責任支出ノ金高九千万餘ヲ加ヘマス
ルト、大正十三年度ノ豫算ハ無慮十七億以
上ニ上リテ居リマス、一年ノ豫算十七億ニ上
ルコトハ未ダ曾テアラザル所ノ大豫算ニア
リマシテ、之ヲ昨年ノ豫算ニ比較シマスルト
約二億三千万圓ヲ加ヘテ居リマス、昨年ノ豫
算ノ十四億七千万圓ノ豫算ニ比スレバ、十
七億ト云ヘル今年ノ豫算ハ二億三千万圓ヲ
増加シテ居リマス、勿論昨年ノ豫算ノ中ニ
ハ震災ニ屬スル經費一億七千万圓ヲ見積リ、
大正十三年度ノ豫算全部ニ於テハ三億五千
万圓ヲ計上シテアリマス、此震災關係ノ經
費ヲ除キマスルト、昨年ノ豫算ト今年ノ豫
算ハ稍其計數ヲ同ジク致シマスルガ、總
理大臣が過日ノ施政演説ニ於テ聲明セラ
タル如ク行政財政ヲ整理シ、公債ノ公募タ
避ケルト云フ此緊縮方針ヲ主ト致シ、更ニ大
藏當局者ガ之ヲ敷衍シテ政府及國民ノ一大
節約、消費ノ大節減ヲ標榜シタル此内閣ガ、
ノ聲明セラレタル所ノ財政ノ緊縮ト云ヒ、
其主義方針ニ對シテ大正十三年度ノ實際ノ豫
算ハ、頗ル國民ノ消費ヲ促ス豫算ト相成ラテ
居ルノハ吾々ハ、刻下已ムヲ得ガルト同時
ニ、甚ダ之ヲ遺憾ナリトスル所アリマス、
故ニ吾々ハ斯カル經費ハ帝都復興震災救濟

シテモ、本年ノ實行豫算ニ出來ルダケノ節
ニ當局者ニ望ミマス、察スルニ本年ノ豫算
十七億ノ經費ヲ國家ガ之ヲ支拂ヒ致シマ
スルト、恐ラクハ經濟上ニ所謂中間景氣ヲ
生ズルノ虞ナシトハ致シマセヌ、斯カル事ハ
財政ヲ根柢的ニ整理スル趣意ニ於テ甚ダ遺
憾デアリマス、縱令刻下已ムヲ得ザル經費、
昨年ノ災害ガ遂ニ斯カル已ムヲ得ザル經
費ノ支出ヲ要スルニ至タトシマシテモ、十
七億ト云ヘル政府ノ消費ハ、事實ニ於テハ
消費ノ節約ニアラズシテ、政府消費ノ増加
ニアリマスル、此點ニ對シテ經濟社會ニ及
ボス影響ニ甚ダ憂フベキ事アルト思ヒマス
ルニ依テ、重ネテ政府當局ハ此點ニ對シテ
十分ノ注意ヲセラレンコトヲ希望シマス、
又政府ノ誠意ヲ以テ國民ニ對スル節約ヲ獎
メ、其結果國民ノ自覺ニ依テ或ハ經濟的、
政府ヲ離レタ國民ノ消費が減ジ得ラレルカ
モ知レマセヌ、若シ俄ニ國民ノ消費が減ジ
タ場合アリト假定シ、此場合ニ於テ消費ノ節
約ハ一時生產ノ減退ヲ來シマス、政府・内ニ
節約シタル生產力ヲ外國ニ向ヒテ輸出スル
ノ政策ヲ講ズルニアラザレバ、消費ノ節約
ハ生產ノ退減トナリ、或ハ生產ノ方向轉換
トナシテ一時經濟界ニ混亂ヲ生ズル事ナシト
ハ言ハレマセヌ、現内閣ニハ幸ヒ財政三堪
能ナ閣員少カラズ、就中政友會總裁高橋君
ノ如キハ、國家財政ニ於テモ經驗アリ、民間
經濟ニ於テモ非常ナル經驗ヲ有シテ居ラル
ル方デアルカラ、斯カル點ニ對シテハ必ズ
經濟社會ノ混亂ヲ避クルコトニ對スル成案
ガアルコト、確ク信シテ、暫ク政府ノヤル
コトニ任スルコトガ至當ト思ヒマス（拍手
起ル）最後ニ吾々ノ本案ヲ賛成スルコトニ
付キマシテ、最後ニ一言シタイノハ公債政
策ニ關スル件ニアリマス、申スマデモナク
諸君ガ今日御協賛ニ際シテ居ル公債ハ、幸

ニ今年度分ニ於テノ二億九千万圓ハ、或ハ外債ノ利用ニ依リ、預金部ノ利用ニ依リ、剩餘金ノ利用ニ依リ、郵便局ノ募集ニ依ル利用ニ依テ、金融市場ヲ幌亂スル所ノ所謂公募ヲ避ケラレタルコトヲ諱トスルモノニアリマスルト同時ニ、來年以後明治十七年ニ亘テ尙ホ七億ノ復興關係ノ豫算ガアルノデアリマス（明治十七年カ」ト呼フ者アリ）大正十七年ノ誤リデアリマス——今後五年間ニ亘テ尙ホ七億ノ復興關係ノ公債ヲ募集スルノ計畫ニナッテ居リマス、政府ガ財政ヲ整理シ、行政ヲ刷新シテ、緊縮方針ヲ執ルテ茲ニ國庫ノ歲入歲出ノ間に、此公債ニ代ルベキ剩餘金ヲ得タナラバ頂上デアリマスガ、果シテ斯カル巨額ノ節約ヲ行政ノ上ニ加ヘルコトガ出來ルカ否ヤハ、マダ之ヲ後日ニ徵スルノ外ハアリマセヌ、何人ヲ局ニ當ラシムルモ斯カル巨額ノ金額ヲ節約シテ、一切ノ公債ヲ募集セザル財政ヲ作り出スコトハ頗ル困難ト私ハ想像致シマス、而シテ政府ガ此方針ニ依テ今後財政ノ基礎ヲ鞏固ニシタ曉ニハ、民間金融、即チ經濟市場ヲ壓迫スルコトナクシテ、公債募集ノ時期ニ到ランコトヲ吾々ハ切望シテ居ルノデアリマス、若シ公債募集ノ時期ガ到來シ、政府ガ公債ヲ作ルコトガ、民間經濟社會ガ株式ヲ贈資シ或ハ社債ニ依テ事業ヲ進マル云フコト、兩立セシムル場合ニ至タナラバ、政府ハ政府が獨占スル事業ニ向シハ公債ヲ發行シテ其事業ヲ擴張スルコトハ當然ト思ヒマス、現在ノ財界ニ對シテ政府ハ非募債政策ヲ執ルテ市場ヲ壓迫ヒザルト云フコトニ對シテハ、吾々ハ同感デアリマス、併ナガラ現内閣モ又吾々モ、非募債主義ヲ執ルナド、云フコトハ斷ジテアルベカラザル事デアリマス、現實ノ政策トシテハ公債募集ヲ避ケルニ相違ナイガ、主義トシテ國家ノ事業ニ對シテハ、民間經濟ノ壓迫ヲ避け、公債ヲ募集スルノ便利ナ時ニ至テハ、

此國家事業ノ爲ニ公債ヲ募集スルト云フコトハ當然ノ事デアリマス、政策トシテハ今マスルト同時ニ、來年以後明治十七年ニ亘テ尙ホ七億ノ復興關係ノ豫算ガアルノデアリマス（明治十七年カ」ト呼フ者アリ）大正十七年ノ誤リデアリマス——今後五年間ニ亘テ尙ホ七億ノ復興關係ノ公債ヲ募集スルノ計畫ニナッテ居リマス、政府ガ財政ヲ整理シ、行政ヲ刷新シテ、緊縮方針ヲ執ルテ茲ニ國庫ノ歲入歲出ノ間に、此公債ニ代ルベキ剩餘金ヲ得タナラバ頂上デアリマスガ、果シテ斯カル巨額ノ節約ヲ行政ノ上ニ加ヘルコトガ出來ルカ否ヤハ、マダ之ヲ後日ニ徵スルノ外ハアリマセヌ、何人ヲ局ニ當ラシムルモ斯カル巨額ノ金額ヲ節約シテ、一切ノ公債ヲ募集セザル財政ヲ作り出スコトハ頗ル困難ト私ハ想像致シマス、而シテ政府ガ此方針ニ依テ今後財政ノ基礎ヲ鞏固ニシタ曉ニハ、民間金融、即チ經濟市場ヲ壓迫スルコトナクシテ、公債募集ノ時期ニ到ランコトヲ吾々ハ切望シテ居ルノデアリマス、若シ公債募集ノ時期ガ到來シ、政府ガ公債ヲ作ルコトガ、民間經濟社會ガ株式ヲ贈資シ或ハ社債ニ依テ事業ヲ進マル云フコト、兩立セシムル場合ニ至タナラバ、政府ハ政府が獨占スル事業ニ向シハ公債ヲ發行シテ其事業ヲ擴張スルコトハ當然ト思ヒマス、現在ノ財界ニ對シテ政府ハ非募債政策ヲ執ルテ市場ヲ壓迫ヒザルト云フコトニ對シテハ、吾々ハ同感デアリマス、併ナガラ現内閣モ又吾々モ、非募債主義ヲ執ルナド、云フコトハ斷ジテアルベカラザル事デアリマス、現實ノ政策トシテハ公債募集ヲ避ケルニ相違ナイガ、主義トシテ國家ノ事業ニ對シテハ、民間經濟ノ壓迫ヲ避け、公債ヲ募集スルノ便利ナ時ニ至テハ、

（吉植庄一郎君登壇、拍手起ル）
（總理大臣ハ何處へ行、夕ト呼フ者アリ）
○吉植庄一郎君 吾々ハ松田君ノ提出セラレタル修正案ニ贊意ヲ表スル者デアリマス、此修正ノ趣意ハ松田君ニ依テ略論ジ盡サレテ居リマス、併ナガラ此問題ハ單ニ僅カナル數字ノ問題デアリマセヌ、現内閣ガ今回提出シタル所ノ豫算案ニ於テハ、其大部分ハ清浦内閣ノ立テ夕所ノモノヲ踏襲シタノデアリ、現内閣ノ主義政綱ヲ現シタモノハ、先づ此豫算中ニ於テ政務次官設置ト云フ、此一シダケガ現ハレテ居ルノデアル、アトハ皆全部踏襲ト言フテ宜イノデアル故ニ吾々ハ此内閣ガ前内閣ノ作タ豫算ヲ踏襲シテ出ス場合ニ、特別ニ此豫算ダケヲ俄然ト思ヒマス、現在ノ財界ニ對シテ政府ハ非募債政策ヲ執ルテ市場ヲ壓迫ヒザルト云フコトニ對シテハ、吾々ハ同感デアリマス、併ナガラ現内閣モ又吾々モ、非募債主義ヲ執ルナド、云フコトハ断ジテアルベカラザル事デアリマス、現實ノ政策トシテハ公債募集ヲ避ケルニ相違ナイガ、主義トシテ國家ノ事業ニ對シテハ、民間經濟ノ壓迫ヲ避け、公債ヲ募集スルノ便利ナ時ニ至テハ、

（吉植庄一郎君登壇、拍手起ル）
（總理大臣ハ何處へ行、夕ト呼フ者アリ）
○吉植庄一郎君 吾々ハ松田君ノ提出セラレタル修正案ニ贊意ヲ表スル者デアリマス、此修正ノ趣意ハ松田君ニ依テ略論ジ盡サレテ居リマス、併ナガラ此問題ハ單ニ僅カナル數字ノ問題デアリマセヌ、現内閣ガ今回提出シタル所ノ豫算案ニ於テハ、其大部分ハ清浦内閣ノ立テ夕所ノモノヲ踏襲シタノデアリ、現内閣ノ主義政綱ヲ現シタモノハ、先づ此豫算中ニ於テ政務次官設置ト云フ、此一シダケガ現ハレテ居ルノデアル、アトハ皆全部踏襲ト言フテ宜イノデアル故ニ吾々ハ此内閣ガ前内閣ノ作タ豫算ヲ踏襲シテ出ス場合ニ、特別ニ此豫算ダケヲ俄然ト思ヒマス、現在ノ財界ニ對シテ政府ハ非募債政策ヲ執ルテ市場ヲ壓迫ヒザルト云フコトニ對シテハ、吾々ハ同感デアリマス、併ナガラ現内閣モ又吾々モ、非募債主義ヲ執ルナド、云フコトハ断ジテアルベカラザル事デアリマス、現實ノ政策トシテハ公債募集ヲ避ケルニ相違ナイガ、主義トシテ國家ノ事業ニ對シテハ、民間經濟ノ壓迫ヲ避け、公債ヲ募集スルノ便利ナ時ニ至テハ、

（吉植庄一郎君登壇、拍手起ル）
（總理大臣ハ何處へ行、夕ト呼フ者アリ）
○吉植庄一郎君 吾々ハ松田君ノ提出セラレタル修正案ニ贊意ヲ表スル者デアリマス、此修正ノ趣意ハ松田君ニ依テ略論ジ盡サレテ居リマス、併ナガラ此問題ハ單ニ僅カナル數字ノ問題デアリマセヌ、現内閣ガ今回提出シタル所ノ豫算案ニ於テハ、其大部分ハ清浦内閣ノ立テ夕所ノモノヲ踏襲シタノデアリ、現内閣ノ主義政綱ヲ現シタモノハ、先づ此豫算中ニ於テ政務次官設置ト云フ、此一シダケガ現ハレテ居ルノデアル、アトハ皆全部踏襲ト言フテ宜イノデアル故ニ吾々ハ此内閣ガ前内閣ノ作タ豫算ヲ踏襲シテ出ス場合ニ、特別ニ此豫算ダケヲ俄然ト思ヒマス、現在ノ財界ニ對シテ政府ハ非募債政策ヲ執ルテ市場ヲ壓迫ヒザルト云フコトニ對シテハ、吾々ハ同感デアリマス、併ナガラ現内閣モ又吾々モ、非募債主義ヲ執ルナド、云フコトハ断ジテアルベカラザル事デアリマス、現實ノ政策トシテハ公債募集ヲ避ケルニ相違ナイガ、主義トシテ國家ノ事業ニ對シテハ、民間經濟ノ壓迫ヲ避け、公債ヲ募集スルノ便利ナ時ニ至テハ、

（吉植庄一郎君登壇、拍手起ル）
（總理大臣ハ何處へ行、夕ト呼フ者アリ）
○吉植庄一郎君 吾々ハ松田君ノ提出セラレタル修正案ニ贊意ヲ表スル者デアリマス、此修正ノ趣意ハ松田君ニ依テ略論ジ盡サレテ居リマス、併ナガラ此問題ハ單ニ僅カナル數字ノ問題デアリマセヌ、現内閣ガ今回提出シタル所ノ豫算案ニ於テハ、其大部分ハ清浦内閣ノ立テ夕所ノモノヲ踏襲シタノデアリ、現内閣ノ主義政綱ヲ現シタモノハ、先づ此豫算中ニ於テ政務次官設置ト云フ、此一シダケガ現ハレテ居ルノデアル、アトハ皆全部踏襲ト言フテ宜イノデアル故ニ吾々ハ此内閣ガ前内閣ノ作タ豫算ヲ踏襲シテ出ス場合ニ、特別ニ此豫算ダケヲ俄然ト思ヒマス、現在ノ財界ニ對シテ政府ハ非募債政策ヲ執ルテ市場ヲ壓迫ヒザルト云フコトニ對シテハ、吾々ハ同感デアリマス、併ナガラ現内閣モ又吾々モ、非募債主義ヲ執ルナド、云フコトハ断ジテアルベカラザル事デアリマス、現實ノ政策トシテハ公債募集ヲ避ケルニ相違ナイガ、主義トシテ國家ノ事業ニ對シテハ、民間經濟ノ壓迫ヲ避け、公債ヲ募集スルノ便利ナ時ニ至テハ、

妓ノ徒デアル、朝ニハ甲ノ内閣ニ姫ヲ呈シタニハ乙ノ内閣ニ姫ヲ售ル、是レ娼婦ノ徒デアルト尾崎豊堂君ハ嘲罵シタ、其事務官ニ總アノ事ヲ教ハズテ、參政官ノ諸君ハ懦々焉トシテ其命ニ聽イテ居ツタデハナイカ、此苦キ經驗、苦キ體験ヲ再ビ重不ントスルニ至シテハ、寧口吾々ハ其愚ヲ嗤ハザルヲ得ヌテ僕ト同論デアルト云フコトヲ信ジテ居リマス（拍手）故ニ此問題ハ、或ハ僅カノ獵官ヲ志ス所ノ少數ノ者カラハ迎ヘラレルカ知ラヌガ、三派ノ友黨ノ諸君モ大體ニ於金爵敬スベキ町田君ガ現内閣擁護ト言ハウカ、鞭撻ト言ハウカ、或ハ杞憂ヲ拂ハレタト申サウカ、頗ル賛成兼反対ノヤウナ、兩方ノ意味ノ加ハシタ説明カアタ、此點ハ私ガ此豫算ノ提起セラレタ日ニ於テ質問ヲ致シタコトヲ思ヒ出ス、三派ノ内閣、主義政策ヲ異ニシ、互ニ主張ヲ闘ハシテ居ツタ黨派ニ急遽トシテ内閣ヲ造ツタ、是ニ於テ先ヅ起ル問題ハ三派ノ主義主張ヲ如何ニ統一シ、如何ニ聯絡シテ、之ヲ政策ノ上ニ具體化スルカト言フコトヲ、大ナル興味ヲ以テ見ルト云フコトヲ私ハ言シタ、果セル哉此杞憂ハ著々トシテ事實ニ現ハレテ來ア、濱口大藏大臣ノ財政緊縮ノ方針ト、高橋農商務大臣ノ多年ノ傳統的ノ積極主義、先づ斯ウ云フモノ上ニ、其他各種ノ質問應答ニ依テ、茲ニ到底兩立スベカラザル所ノ弱點が事實ノ上ニ現ハレテ來タノミナラズ、三派與黨ノ間ニ於テモ此豫算ニ對シテハ或ハ政務次官ノ問題ニ對シ、政友會ノ考ヘテ居ル所ヲ昨日泰君ニ依クテ豫算總會ニ辯明セラレタル趣意ト

ハ、距離頗る遠いノデアル、又濱口君が其緊縮ノ方針ヲ論ジ、公債政策ノ改善ヲ論ズルニ際シテ、町田君ハ今日ニ於テハ賛成ダガ、他日公債ヲ募ルコトガ差支ナイト云フ時ガ來タナラバ、大ニ募^テヤラナケレバインカスト云フ論モサレテ居ル、此財政政策ヲ主張シ、非募債主義ヲ主張シテ、苦き経験ヲ持^テ居ル憲政會ノ諸君ハ、轉バヌ先ノ杖ノ老婆心カモ知レナイガ、一方ニ於テ大藏大臣ガ整理節約、公債政策ノ改善、即チ我國ノ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルコトガ今日ニ於ケル最大ノ問題ナリト、渾身ノ力ヲ以テ此問題ニ努力シ、且又一方ニ於テ種々ノ方法ヲ執り、今回ノ豫算及法律案トシテ現ハレタノハ、獨リ大藏大臣所管ノ問題ノミト言ニハ吾々ハ反対デアルガ、其主義主張ガ何レニモセヨ、渾身ノ力ヲ以テ公債政策ノ改善ニ努力シテ居ル間ニ此豫算案ニ對シテ其與黨ノ賛成演説ハ好イ加減ニシテ、公債ヲ早く募ル工夫ヲシナケレバイカヌト言ハシ評リノ狀態ヲ呈スルニ至^テ(拍手起ル)一體内閣諸公ノ中ニ色々々アルノミナラズ、政府ト與黨トノ間ニ、政府ヲ支持シナケレバナラヌ與黨トノ間ニ、斯ノ如キ意見ノ相違アル所ヲ吾々ハ見出スコトヲ悲ムノデアリマス(拍手起ル)農村振興ノ問題、或ハ輸入超過ノ問題ニ對シテ、豫算總會ニ於テ繰返サレル所ノ質問應答ハ、片岡委員長ニ依テ御報告サレタガ、大分御報告ハ事實ト云リマス(拍手起ル)

致サウト明言シタコトハ聞イ夕斗カナイ
總理大臣加藤君ハ施政演説ニ於テ、此内閣
ハ國民ノ負擔ヲ輕減スルト云ガ如キ聞頗
ハ少シモ考ヘテ居ラナイ、大震火災ノ非常
ナル事變ノ爲ニ財源ヲ失フタ今日ニ於テ、國
民負擔ノ輕減ニ付テ何物ヲモ考ヘテ居ナイ
ト云フコトヲ此壇上ニ於テ明言サレテ居
ル、又濱口君ハ嘗ニ大正十三年度ニ於テ負
擔輕減ヲ爲シ能ハザルノミナラズ、十分ナ
ル財政行政ノ大整理ヲ斷行シ、國民ノ自覺
ヲ促シテ其勤儉力行ヲ進メ、上下心同一ニ
シテ大整理節約ヲシテ生ミ出シタ、其結果ト
シテ出テ來タ所ノ金ヲ之ヲ廢減稅、即ち國
民ノ負擔輕減ニ用キル見込ハ少シモナイト
云フコトヲ断然トシテ明言セラレテ居ルデ
ハナイカ（ノウ）是ハ私ノ質問ニ對シテ居
濱口君ガ直接ニ答ヘタ所ノ言葉デアリマ
ス、斯様ナル廢減稅ノ爲ニハ一厘半錢も出
スコトハ能ズト云フ財政計畫ヲ持テ居ル
當局者デアリ、而シテ之ニ裏書シテ居ル總
理大臣ヲ持テ居ル此内閣ガ、ドウシテ何處
カラ金ヲ持テ來テ農村振興ノ資源ヲ得ン
ト欲スルノデアルカ、高橋農商務大臣ハ私
ノ質問ニ對シテ極メテ巧ミニ、極メテ晦澁
ニ其議論ヲ避ケラレテ居ル、例ヘバ米價問題
ニ對シテモ、或ハ輸入超過ノ問題ニ對シ
テモ、農務省獨立ノ問題ニ對シテモ、流石
ノ公平ナル片岡君ガ頗ル歎リ諄イ言葉ヲ以
テ農務省獨立問題ニ對スル意見ナリト云ウ
テ先刻報告セラレタガ、アレハ片岡君ノ發
明ニアラズシテ、高橋農相ノ直傳デアリマ
ス、高橋農相ガアノ通り言ツテ居ル、自分ハ
單ニ此場合ニ農務省ヲ獨立シテニツノ省ヲ
シテアル現内閣ノ此豫算ノ中ニ含メテ出シ
タ所ノ豫算ヲ否認シテ、而シテ新ニ何ヲ爲
サントスルカト云フ具體ノ問題ニ付テハ

コトガ出来ナイノデアル、又米ノ調節ノ問題ニ對シテモ同様デアル、現行法ヲ前任ノ大臣ハ實行シナカッタノデアル、故ニ現行法ニ依シテ米價ノ調節ガ出来ナイノデ、俺ガヤレバ立派ニヤンテ見セルト云フコトヲ言ハレル、併ナカラ現行法ニ依シテ米價ノ調節ヲ爲ス能ハザルコトハ昨年衆議院ニ於テ各派農村振興委員會デ、十數日ニ亘テ政府及議員トノ間ニ研鑽討論ヲ盡シ、到底現行法ノ米穀法ニ依テハ我國ノ米價調節ハ斷じテ爲シ能ハズト云フコトニ結論サレテ、而シテ政府ニ對シテ此法律ノ改正及米價ノ調節ヲ速ニ爲スベシト云フ決議ヲ、全會一致ヲ以テ衆議院ハ通過致シテ居ルノデアル、高橋農相ガ簡單ニ是ハ前任者ニ腕前ガナクテ、其法律ヲ十分ニ行ハナイノデ、俺ハ腕前ガアルカラ刀ヲ持タナクテモ斬レルト言ハシバカリノ傲語ヲセラレルケレドモ、吾々ハ左様ナル簡単ナル一語ヲ以テ、國論タル所ノ此問題ヲ讓歩スルコトハ出來ナイノデアリマス、又金利ノ問題、物價ノ問題、金融解禁ノ問題、是等ノ諸問題ハ、輸入超過ヲ如何ニ調節スベキカト云フ問題トハ緊切離ルベカラザル、密切離ルヘカラザル關係ヲ有シテ居ルコトハ、私ガ言フマデモナイ、濱口君ハ此輸入超過ノ問題ヲ現下ノ最重大ナル問題ト見テ居ラレルコトニ付テハ敬意ヲ拂フ、併ナガラ今回ノ豫算並ニ豫算關係以外ニ於テ、政府ガ續々ト出シテ來ル所ノ諸法案ヲ見レハ、大藏大臣ハ現在我國ニ於テ年額六億以上ニ激増シテ居ル輸入超過ノ問題ニ、渾身ノ力ヲ加ヘテ解決ヲスルコソ、眞ニ我國ノ經濟財政整理ノ根本デアルト云フコトニ氣が付カナイコトヲ私ハ惜ムノデアリマス、同君ガ公債政策ヲ云爲シ、或ハ國民ノ勤儉自覺ヲ促スト云フガ如キ、極メテ間接的ノ手段方法ニ依シテ政府ノ財政整理、行政整理問題ヲ、整理節約是

等ニ依フテ自然ト物價ガ下ルデアラウト言
ヤツテ、此非常ナル激増ノ形勢ニアル輸入超
過ヲ防遏スルコトガ出來ルノデアルカ、之
ヲ問ヘバ同君ハ曰ク、左様ナ事ヲ問フコト
ハ吉植君ニ似合ハナイ事デナイカト言ハ
レル、凡ソ一國ノ政局ヲ擔當シテ、當面シ
タル此輸入超過ノ大問題ニ對シテ、解決ヲ
與ヘント欲スルナラバ、少クトモ政府者ハ
此方法ヲ實行シ、此政策ノ實現ニ依ツテ、何
年ノ間ニハ凡ソ半額位ノ輸入カ止マルト
ナラバ、凡ソ何年ノ間ニハ此位ノ程度ノ輸
出ハ出來得ルモノデアルト云フ、肯定的ノ
意見ヲ以テ臨マナケレバ、唯徒ニ慢然ト
シテ國民ノ勤儉貯蓄ニ依賴シ、單ニ財政ノ
整理、行政ノ整理、若クハ公債政策ノ改善
ト云フガ如キ、極メテ緩慢ナル微溫のナル
賴他主義ヲ政策ニ依ツテ、此問題ノ直接解決
ニ何年掛ルカト云フ事スラモ明言出來ナイ
ニ至ラテハ、私同君ノ爲ニ甚ダ其識見ヲ姪ハ
ザルヲ得ナイノデアリマス(拍手ノウ)――
之ニ對シテ、豫テハ金融上ニ於テハ通貨收
縮論者デアリ、金利ヲ上げナケレバナラヌ
ト云フ論者デアリ、金解禁ノ最モ熱烈ナル
論者デアタ所ノ濱口藏相ハ、何時ノ間ニカ
高橋農相ノ說ニカブレタノカ、妥協シタノ
カ、議タノカ、分フナイガ、此頃ハ金利毛下
ゲルコトヲ希望スルト言テ居ル、金ノ解禁
ハ今断ジテ其時ニアラズト數日來突張テ
居ル、段々ト同君多年野ニ在、夕時ノ主張
ガ、政友會ノ財政論、經濟論ニ段々調和ヲ
求メツ、アルヤウナ傾向アルコトハ吾々ハ
寧口喜ブノデアリマス、併ナガラ我等ノ十
年來天下ニ呼號シ來タ所ノ國民負擔ノ輕
減ニ付テハ、幾ラ財政ノ整理ヲシテモ一厘
モ出セナイト言テ居ル、先刻陸軍及海軍ニ

大整理ガ出來得ルヤウナコトヲ片岡委員長
ニ依テ諸君ニ報告セラレタガ、假令ソレニ
依フテドレダケノ整理節約ガ出來テモ、一厘
一毛モ減税ニ之ヲ使フ金ガナイ、農村振興
ノ爲ニ費ス金ノ出途ヲ考ヘテ居ナイト云フ
ニ至テハ、唯、政府ノ財政ノ爲ニ、政府ノ行
政整理ソレ自身ノ爲ノ整理デアッテ、其整理
節約ハ國家ニ向テ殆ド積極的ニ何等ノ意味ヲ持タヌト云フコトヲ斷言スルノデアリ
マス(拍手)吾々ハ斯ノ如キ問題ヲ列へ來レ
バ頗ル多イノデアリマス、尙ホ又此内閣ハ
勿卒ニ際デアルカラシテ、主義政策ニ於テ
統一ガナイト云フコトヲ先刻私ガ言ウタ
此主義政策ガ今回出サレタ所ノ諸法律案及
豫算案ノ中ニモ見出スノデアル、先刻町田
君ノ論ゼラレタ通り、本年ノ豫算及實行豫
算ニ於テ之ヲ合セルト約十七億、整理節約
行政整理ヲ旗印トシテ居ル所ノ此内閣ガ、
此問題ニ對シテ殆ド一指モ染メナイデ、前
内閣ノ豫算ヲ踏襲シタル其大膽、但謀ト言
ハウカ、吾々ハ驚愕ヲ喫シテ居ル、故ニ帝
都復興ノ問題ニ付テモ嚴重ナル警告ヲ發ス
ルノ必要ヲ感ジテ居ル、何ヘバ一坪三二十
七圓五十錢ト云フガ如キ極メテ安イ所ノ移
轉料ヲ以テ、此區劃整理ガ果シテ遂行出來
ルヤ否ヤト云フコトハ、政治ノ實際問題ト
シテハ深ク疑ヲ持ツ所ノ問題デアリマス
(拍手)又此會テ成シタ當時ノ豫算額一千
六百餘万圓ハ、其移轉スペキ人々ノ數ノ非常
ニ少イ時デアッタガ、今ヤ移轉スペキ所ノ家
屋ハ續々トシテ建立セラレテ、約三倍ニ上
ル所ノ移轉者ガアルヤウニナツタノデアル
カラ、其三分ノ一ノ移轉者ニ一坪二十七圓
五十錢ト云フ僅カナル金デシタ所ノ計畫
ガ、果シテ此豫算ノ範圍内ニ實行出來ルカ
否ヤト云フコトハ大ナル疑問ヲ持ツテ居ル
デアリマス(拍手)若シ國家ニ財源絶タトシ
テ餘地アッテ、足ラナケレバ何時デモ追加豫
算ニ要求スレバ即チ足ルト云フガ如キ、放

漫無責任ナルコトヲ敢テスルナラハ率知ラズ、此豫算ノ範圍内ニ於テ全責任ヲ以テ此豫算ノ範圍内遂行スルト断言サレタ勇氣ニ向シテハ、多大ノ敬意ヲ表スルト同時ニ、與黨諸君ハ非常ナル此責任ヲ共ニ負擔シテ、此帝都復興ノ問題ニ對シテ、他日一錢一厘タリトモ追加豫算ヲ提出スルト云フヤウナコトガアリ、若クハ此問題ガ途中デ停頓シテ進行スルコト能ハザルコトガアツナラバ、諸君ハ内相ト共ニ重大ナル責任ヲ負擔スル者デアルト云フコトヲ警告致シテ置キマス、濱口藏相ハ殆ド一本槍ニ昨日マデモ今日マデモ、熱烈ニ整理節約——今日ノ國家ノ急務ハ財政ノ基礎ヲ根本ニ鞏固ニスルニ在リト云フコトヲ力説セラレタ、而シテ是ガ爲ニ公債政策ノ改善ヲ力説セラレタ、併ナガラは斯ハ町田君モ怪シイト思フカラ逃ダ途ヲ張ツタノダラウト思フ、同君ノ議論ハ如何ニモ堂々デアル、其態度モ嚴肅デアル、而シテ如何ニモ論理的デアル、併ナガラは極メテ又學究的デアル、政治家的デナイ、即チ此公債政策ヲ論ズルニ當シモ、吾々ハ成ベク公債ハ募ラヌ、サウシテ財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルノダ上云フガ、然ラバ大正十三年一度ニ於テ何ノ金ヲ以テ支辨スルカト云ヘバ、勝田前藏相ガ英國及亞米利加デ募タ所ノ公債ノ中カラ、一億五百万圓ノ金ヲ以テ、預金部ノ金六千万圓ヲ以テ、郵便局三ノ差ガアツテモ、公債タルニ於テ何ノ差ガアル（拍手）又郵便貯金其他ノ國民ノ貯蓄ノ集、タモノハ、一種ノ公債ト同様ナモノデアルケレドモ、形ヲ變ヘタ所ノ色々ノ借入金、國民カラノ借金ト云フモノハ、之ヲ

綜合シテ公債ト云フニ何ノ憚ル所ガアル、然ラバ公債ヲ整理シテ成ベク募ラスト云フ
大正十四年ノ後ニ於テハ、濱口藏相スラモ一文モ募ラスト言ハナイ、言ヘナクナッテ
來タ、成ベク募ラヌ、然ラバ如何ナルモノヲ募ルカ、緊急避難ケカラザルモノ、外ハ
募ラスト言テ居ル、諸君、苟モ一國ノ公債政策ヲ募ル場合ニ、緊急已ムヲ得ナイモノ、外ハ
公債ヲ募ル馬鹿者ガ何處ニアリマスカ、然ラバ緊急已ムヲ得ザルモノハ是カラ公債政策ヲ
張相變ラズ繼續スルノデアルト云フコトニナル、何ノ公債整理デアルカ、何ノ公債政策ノ改善ニナツテ居リマスカ、少シモ公債政策ノ改善ニアラズシテ、他ノ言葉ヲ
以テ唯ニ言フダケデアツテ、内容實質ニ於テハ全ク此公債政策ナルモノハ、現内閣ガ
標榜スルガ如キモノニアラズシテ、私ヲシテ端の二言ハシムレバ、羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルノ類デアルト断言スルノデアル（拍手）藏相ハ此輸入超過ノ趨勢ニ對シテ年額、食料並ニ農產品ノ輸入ト云フモノハ近來約三億ニナツテ居ル、此年々增加シテ來マス食料品及農產物ノ缺乏ト云フコトガ輸入超過ノ大ナル原因ヲ爲シテ居ルト云フ、此前提ニ向ニテ藏相ガ承認セラル、ナラバ、此大輸入超過ノ防止策トシテハ我國ノ農村ヲ振興セシメ、農產物ノ増加ニ依ルト云フコトハ、根本ノ政策トシテ必要デハナイカト云フコトヲ、本議場ニ於テモ、又豫算委員會ニ於テモ屢々繰返シタル質問デアル、然ルニ藏相ハ銀ノ状態、物價ノ問題ヲ改善セズシテ、何勵シナケレバナラスト言ハレタ、然ラバ輸出獎勵シテ行ヒ甚ダ難シト云フ、然ラバ何ヲ爲サント欲スルノデアルカ、大ニ輸出ヲ獎易クシテ行ヒ甚ダ難シト云フ、然ラバ何ヲ銀ノ状態、物價ノ問題ヲ改善セズシテ、何ノ方法ニ依テ政府ハ此輸出ヲ増加スルト

云フ政策ヲ立て、居ルカ、此質問ニ對シテハ殆ド答フルコト能ハナイノデアル、斯ノ如ク最モ財政經濟ニ通ズルト稱スル所ノ濱口君、其標榜スル議論ヲ具體化スル政策ヲ追窮スルニ至テハ、常ニ言ヲ左右ニ記シテ居ルノミナラズ、今回提出シタ所ノ法案ニ對シテモ、同君ハ國民ノ貯蓄ヲ獎勵センガ爲ニ復興債券ナルモノヲ發行スルト言ハレル、サウシテ國民ノ此資本ナル金ヲ集メナケレバナラスト言ツテ居ルカ、其法案ヲ見レバ焉ゾ知ラン全國各地方ニ向テマデモ、此復興債券ニ依テ色々ノ役人ヲ擁ヘテ、獎勵ヲシテ集メヤウト云フノデアル、而シテ其金ヲ預金部デ使ハウト云フノデアル、今日地方ニ於テハ既ニ先日モ申ス通り、小學校ノ教員ニ給料ヲ拂ヘナイ村モアル、農村ニ於テハ自分ノ土地ヲ政府ニ只デ納シタイト願ヒ出ル者ガアル、農村各地ニ於ケル所ノ困憊ノ状態ハ非常ナモノデアル、此場合ニ茲ニ持ツテ行シ小額債券ヲ發行シ、國民ノ貯蓄ヲ獎勵スルト稱シテ、五百億、六百倍ノ富築同様ナルモノヲ以テ、政府ガ主トシテ之ヲ勧メルト云フニ至テハ、一面ニ勤勉貯蓄ノ獎勵デアルガ、一面ニ於テ射倅ノ獎勵デアル、右ノ手ニ取ツテ左ニ與ヘルト云フノデアル、此政策ソレ自身ガ矛盾ヲ踏シテ居ルモノデアリ、吾々ハ斯様ナル、徒ニ言美ニシテ其内容ニ至テハ常ニ「プラスマイナス」ニナッテ居ルト云フヤウナ事ガ多々アルコトヲ斷言スルノデアル、又昨日出シタ所ノアノ輸入稅關稅ノ問題ハ如何デアリマス(發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 静浦二
○吉植庄一郎君(續) 奢侈品ニ關稅ヲ課ケルノデアルト大聲疾呼シテ、大藏大臣ハ此國民ニ向テ精神的ノ宣傳ヲ爲スノデアル、精神的ノ宣傳デアルト云テ之ヲヤリナガラ、或人ノ質問ニ對シテ既ニ二元的、二ツノ目的ヲ持テ居ルコトヲ言現ハシテ居ル

一ツノ議論ト之ニ依テ奢侈品ヲ止メヤウト云フニ元的ノ此主張ニ依テヤッタト云フコトハ、即チ奢侈品等「等」ト云フ字ノ説明ニ依テ演口君ハ功ミニ之ヲ説イテ居タデハアリマセヌカ、即チ現内閣ニ最モ正直者、最モ人格者ニ通テ居ル所ノ演口君スラモ、其標榜スル所ノモノト、其爲シツ、アル所ノ其表裏ヲ窺ヒ、又内容ヲ點檢スルニ於テハ、常ニ斯ノ如キ矛盾擡著ガアルト云フコトヲ言ハナケレバナラスノデアル、斯ノ如キ内閣ニ向テ警官ヲ發スルコトハ、棟ニ釘ヲ打ツヤウナモノデアリ、格別ノ效能ハナイト吾々ハ信ジテ居ルケレドモ、併ナガラ先づ來ルベキ議會マデ暫ク此命ヲ仰預ケシテ置イテ、此内閣ガ到底此警告ニ向テ實行スルコト能ハズ、又其宣言シタ所ノ政策ヲ實行スルコト能ハズシテ、閣内ニ於テ紛擾ヲ起スノミナラズ、諸君トノ間ニモ大紛擾ヲ起シテ、自ラ倒瀆スルノ機運ニ達スルコトヲ私ノ認メテ居ル、諸君——諸君ノ總理大臣、並ニ諸君ノ大藏大臣ハ農村振興ノ形式的ノ農村振興案ヲ提ダテ建議案トナシテ哀訴歎願至ラサルナシ、其結果ハ遂ニ能ハズ、大正十四年度ニ至テモ尙ホ出スコト能ハズト明言シテ居ルノニ、諸君が徒ニ擴張費、是等ノ數項目ニ過ギナイ、モ一ノ修築費、巢鴨刑務所ノ維持ニ關スル所ノ擴張費、是等ノ數項目ニ過ギナイ、モ一ノ修理費、是等ニ對シテハ御互ニ相當ニ自由ニ修正ノ餘地ノアル費用デアル、其以外ノモノハ殆ド固定的ノ費用ト言ラテモ宜イ費用デアル、餘リニ此大言壯語シテ此豫算緊急已ムベカラザルモノ、費用ノ中ニ、唯、一ツ伏木築港五百万圓ト云フ費額ヲ加ヘテ築港ノ如キモ最初此豫算ノ問題トシテ現ハレテ、如何ニモ此追加豫算ノ形式トシテ此豫算ニ於テ議論スル程ノ價ハナイ、唯、伏木港ノ築港ノ如キモ最初此豫算ノ問題トシテ現ハレテ、是ハ不要額トシテ存スルノデアルカラ、國家ノ收支ニ差障リナイト云フノデアル、此故ニ吾々ハ三派聯立ノ、吾々ノ詰リ支持スル内閣ニ信賴シテ、是ハ暫ク此當局者ニ信賴ヲ與ヘテ、單リ政府ニ對スル警告ノミナラズ、與策諸君ニ對シテモ御注意ヲ與ヘテ置キマス(拍手)

○東武君(東武君登壇) 東武君
○議長(粕谷義三君) 東武君
○吉植庄一郎君(續) 奢侈品ニ關稅ヲ課ケルノデアルト大聲疾呼シテ、大藏大臣ハ此國民ニ向テ精神的ノ宣傳ヲ爲スノデアル、精神的ノ宣傳デアルト云テ之ヲヤリナガラ、或人ノ質問ニ對シテ既ニ二元的、二ツノ目的ヲ持テ居ルコトヲ言現ハシテ居ル

一ツノ議論ト之ニ依テ奢侈品ヲ止メヤウト云フニ元的ノ此主張ニ依テヤッタト云フコトハ、即チ現内閣ニ最モ正直者、最モ人格者ニ通テ居ル所ノモノト、其爲シツ、アル所ノ其表裏ヲ窺ヒ、又内容ヲ點檢スルニ於テハ、常ニ斯ノ如キ矛盾擡著ガアルト云フコトヲ言ハナケレバナラスノデアル、斯ノ如キ内閣ニ向テ警官ヲ發スルコトハ、棟ニ釘ヲ打ツヤウナモノデアリ、格別ノ效能ハナイト吾々ハ信ジテ居ルケレドモ、併ナガラ先づ來ルベキ議會マデ暫ク此命ヲ仰預ケシテ置イテ、此内閣ガ到底此警告ニ向テ實行スルコト能ハズ、又其宣言シタ所ノ政策ヲ實行スルコト能ハズシテ、閣内ニ於テ紛擾ヲ起スノミナラズ、諸君トノ間ニモ大紛擾ヲ起シテ、自ラ倒瀆スルノ機運ニ達スルコトヲ私ノ認メテ居ル、諸君——諸君ノ總理大臣、並ニ諸君ノ大藏大臣ハ農村振興ノ形式的ノ農村振興案ヲ提ダテ建議案トナシテ哀訴歎願至ラサルナシ、其結果ハ遂ニ能ハズ、大正十四年度ニ至テモ尙ホ出スコト能ハズト明言シテ居ルノニ、諸君が徒ニ擴張費、是等ノ數項目ニ過ギナイ、モ一ノ修築費、巢鴨刑務所ノ維持ニ關スル所ノ擴張費、是等ノ數項目ニ過ギナイ、モ一ノ修理費、是等ニ對シテハ御互ニ相當ニ自由ニ修正ノ餘地ノアル費用デアル、其以外ノモノハ殆ド固定的ノ費用ト言ラテモ宜イ費用デアル、餘リニ此大言壯語シテ此豫算緊急已ムベカラザルモノ、費用ノ中ニ、唯、一ツ伏木築港五百万圓ト云フ費額ヲ加ヘテ築港ノ如キモ最初此豫算ノ問題トシテ現ハレテ、是ハ不要額トシテ存スルノデアルカラ、國家ノ收支ニ差障リナイト云フノデアル、此故ニ吾々ハ三派聯立ノ、吾々ノ詰リ支持スル内閣ニ信賴シテ、是ハ暫ク此當局者ニ信賴ヲ與ヘテ、單リ政府ニ對スル警告ノミナラズ、與策諸君ニ對シテモ御注意ヲ與ヘテ置キマス(拍手)

○東武君(東武君登壇) 東武君
○議長(粕谷義三君) 東武君
○吉植庄一郎君(續) 奢侈品ニ關稅ヲ課ケルノデアルト大聲疾呼シテ、大藏大臣ハ此國民ニ向テ精神的ノ宣傳ヲ爲スノデアル、精神的ノ宣傳デアルト云テ之ヲヤリナガラ、或人ノ質問ニ對シテ既ニ二元的、二ツノ目的ヲ持テ居ルコトヲ言現ハシテ居ル

一ツノ議論ト之ニ依テ奢侈品ヲ止メヤウト云フニ元的ノ此主張ニ依テヤッタト云フコトハ、即チ現内閣ニ最モ正直者、最モ人格者ニ通テ居ル所ノモノト、其爲シツ、アル所ノ其表裏ヲ窺ヒ、又内容ヲ點檢スルニ於テハ、常ニ斯ノ如キ矛盾擡著ガアルト云フコトヲ言ハナケレバナラスノデアル、斯ノ如キ内閣ニ向テ警官ヲ發スルコトハ、棟ニ釘ヲ打ツヤウナモノデアリ、格別ノ效能ハナイト吾々ハ信ジテ居ルケレドモ、併ナガラ先づ來ルベキ議會マデ暫ク此命ヲ仰預ケシテ置イテ、此内閣ガ到底此警告ニ向テ實行スルコト能ハズ、又其宣言シタ所ノ政策ヲ實行スルコト能ハズシテ、閣内ニ於テ紛擾ヲ起スノミナラズ、諸君トノ間ニモ大紛擾ヲ起シテ、自ラ倒瀆スルノ機運ニ達スルコトヲ私ノ認メテ居ル、諸君——諸君ノ總理大臣、並ニ諸君ノ大藏大臣ハ農村振興ノ形式的ノ農村振興案ヲ提ダテ建議案トナシテ哀訴歎願至ラサルナシ、其結果ハ遂ニ能ハズ、大正十四年度ニ至テモ尙ホ出スコト能ハズト明言シテ居ルノニ、諸君が徒ニ擴張費、是等ノ數項目ニ過ギナイ、モ一ノ修築費、巢鴨刑務所ノ維持ニ關スル所ノ擴張費、是等ノ數項目ニ過ギナイ、モ一ノ修理費、是等ニ對シテハ御互ニ相當ニ自由ニ修正ノ餘地ノアル費用デアル、其以外ノモノハ殆ド固定的ノ費用ト言ラテモ宜イ費用デアル、餘リニ此大言壯語シテ此豫算緊急已ムベカラザルモノ、費用ノ中ニ、唯、一ツ伏木築港五百万圓ト云フ費額ヲ加ヘテ築港ノ如キモ最初此豫算ノ問題トシテ現ハレテ、是ハ不要額トシテ存スルノデアルカラ、國家ノ收支ニ差障リナイト云フノデアル、此故ニ吾々ハ三派聯立ノ、吾々ノ詰リ支持スル内閣ニ信賴シテ、是ハ暫ク此當局者ニ信賴ヲ與ヘテ、單リ政府ニ對スル警告ノミナラズ、與策諸君ニ對シテモ御注意ヲ與ヘテ置キマス(拍手)

二付テハ、勿論同論デアル、同論デアルガ
松田君ノ官制ノ上ニ於ケル所ノ議論ニハ、
私共ハ多少贊成致ス點ガアルノデアル、アル
ルノデアルガ諸君ハ此事務政務ノ區別ガ
付カヌト云フコトガ一ツノ論據デアル、又
モウ一ツノ論據ハ是ハ冗官デアルト云フ第
一二政務ト事務トノ區別ガ付カヌト云フノ
デアルガ、是ハ付カヌノデハナイ、付ケナ
イノデアル官制ノ上ニ於テ付ケレバ立派三
付クノデアル、第二ノ冗官デアル、斯ウ云
フ無用ナ冗官ヲ置イテ、行政整理ニ詰リ無用
デアルト云フ標本ノ陳列ヲ遺スノハイカヌ
トスウ云フノデアル、此第二ニハ私ノ贊成
ガ出來ナイ何故贊成ガ出來ヌカト云ヘバ、
我國ノ政治ハ如何ニモ沈滯ヲ極メテ居ル、
明治初年以來官僚ノ権化ナル所ノ山縣公ニ
依テ、官僚政治ノ牙城ヲ造リテ來、我國ノ政
治ハ新陳代謝ノ妙用ヲ缺イテ居ル、新陳代謝
ノ妙用ヲ缺イテ、恰モ流レザル池ノ水ノ如キ
モノデアル、此流レザル池ノ水ニハ必ズ子々
ヤ溝虫ガ湧クノデアル、源泉混々トシテ流
レ、激渾トシテ流レテ居ル所ニ生氣ガアル
ルカラシテ斯様ナ場合ニハ假令黨派ノ如何
ニ拘ラズ、御互、政黨政治、國務政治ヲ主張ス
ル者ハ、多少ノ非難スル點ガアッテモ、朝ニ
一城ヲ抜キタニ一壘ヲ屠ルト云フ此觀念ノ
下ニ出發シナケレバナラヌト思フノデアル
(拍手起り、發言スル者アリ)

ハ出來ナイ、吾々ハ英國ノ「マクドナルド」ノ勞働内閣ナドヲ謳歌スル者デハナイ、謳歌スル者デハナイガ、此勞働内閣ナドニ於キマシテハ、即チ鶴嘴ヲ執テ「ハンマー」ヲ執ツテ坑夫生活ヲ一十七年モ致シタ所ノ關係ガアリ、又鐵道ノ掃除ヲシタトカ、或ハ釜焚キヲシタトカ、或ハ活版屋ノ職工トカ、政局ニ當リ實際生活ニ當面シテ居ル、是ダカラ初メテ活キタ政治ガ出來タノデアル君方ノヤウニ唯、官僚崇拜ガヤッタノデハ何時マデ經ツテモ活キタ政治ハ出來ナイノデアル（拍士起り發言者多シ）ヤカマシイ——ヤカマシイ——次ニ帝都復興ノ事業デス、吾吾ハ昨年山本内閣ノ當時一億三千万圓餘ノ金ヲ削ヅタ、削ツテ今年亦同ジ經費ノ要求ガアルノハ吾々ハ甚ダ不快ニ感スル、不快ニ感ジテ之ニ向ツテ大ナル修正ヲ加ヘル考ヲ實ハ持テ居タ、然ルニ此内容ヲ段々ト調べテ見マスト、吾々ハ帝都復興事業ニ對シテ初メヨリ正面ニ是ガ不必要アルト云フ反対ハ一言モ言ツテ居ラナイ、唯、此方法ニ於テ十二間以上ノ道路ハ國家ガヤルガ、十二間以下ノ道路ニ向ツテマデモ國ガ直接工事ヲ擔當シテ施行スルト云フコトハ宜クナイ、即チ東京市ト云フ日本全國第一ノ模範都市タル所ノ此帝都ヲ無視シテ、サウシテ國家ガ此三間、四間ノ道路マデヲ之ヲ改築整理事ヲスルト云フコトハ、甚ダ自治體ヲ尊崇スル趣意デナク、其方法ニ付テ頗ル誤リデアルト云フコトヲ論ジタノデアツテ、當局者——復興局——今ノ現政府ノ要求シタ此豫算案ヲ見マスレバ、丁度私共ガ昨年言ツタ通りノモノヲ出シテ來タ（拍士）即チ此主張ニ依ツテ自治體ニ向ツテ貸付ヲシテ二分ノノ補助ヲスルト云フ案ニナンテ來タ、是ガ爲ニ東京市ト云フモノハ四千餘方圓、横濱市ハ四百三十餘方圓ト云フ新ニ茲ニ義務ヲ負擔ス

ルト云フコトガ、即チ吾々ノ去年ノ修正正規
違^タタ——即チ是ハ豫算ノ上ニ於テ東京市
ノ自治ヲ尊重スル上ニ於テ、又東京市民ガ
権利義務ノ上ニ於テ、當然是ハ負擔スベキ
所ノ貸付金デアル、此貸付金ヲ負擔シタト云
正ヲシタト云フコトニ對シテ、全ク當局者
ガ吾々ノ民意ヲ容レテ此案ヲ出シタト云フノデナ
コトニナシテ、院議ヲ無視シタト云フノデナ
クシテ、寧口院議ヲ尊重シタト云フコトニ
ナシテ居ルノデアル(拍手)唯ニ問題ハ金ガ變
變ラヌト云フコトハ吾々ハ是ハ甚ダ殘念ニ
アル、質ハ變ラヌガ形ダケ變ヘテ來タ、是
ハ官僚ノ由來常套手段ニアツテ、ダカラ吾々
ハ到底敵ハヌ、何カ理窟ヲ付ケテ取ルダケノ諸
モノハ取ラレルト云フコトニナル、是ハ吾
々ハ甚ダ遺憾ニ考ヘル、サウシテ復舊ノ諸
費、總テ今回現レタ所ノ豫算ノ上ニ於テ此後
舊ノ諸費ヲ概算ヲシテ見ル、寧口概算等デ
ナク精算ヲシテ見マスト云フト、此金ハ非
常ニ大ナル、金ガアル、諸君ハ恐ラク此豫算
ヲ繙イテ十分御承知デアラウガ、現在第一、
第二、第三號ニ現レタ所ノ此國債ノ計畫、或
ハ總テノモノニ於キマシテ、此震災ニ關スル
ル復舊關係ノ諸費ヲ調べテ見マスト、其總額
ハ實ニ十二億九千五百七十四萬圓、約ナ
三億ニ達シテ居ル、此外ニ震災以來各省ニ
瓦^タ所ノ、各省普通經費ニ依ル増額は此
震災復舊ノ經費ニ關係ナク、各省ノ自由隨
ヒニ依ル經費ノ増額——或ハ責任支出ヲ致
シタモノモアル、例ヘバ一例ヲ言ウテ見ル
ト、内務省ニ於テ警察ヲ澤山使^タ、警視廳
ノ費用デナクシテ直接ニ此震災ノ爲ニ使^タ
舊費ニハ一ツモ這入^タテ居ラヌ、或ハ官吏ノ
旅費ガ非常ニ要^タ、是モチヨットモ這入^タテ
居ラヌ、各省ニ於テハ事務ハ荒廢シ、間接
ハ精算ヲ致シテ居リマセヌガ現ニ豫算ニ現

ハレタルモノガ、十三億圓其外ノモノヲ合セルト十四五億ニ達スルト思フ、此十四五億ノ金ハ私ハ決シテ巨額トハ思ハナイ、是デ此帝都復興ガ出来ルナラバ——初メニハ三十億ト稱シ、或ハ二十億ト稱シ、或ハ七億ト稱シ、八億ト稱シタノデアルガ、十五億ニハドウシテモ達スルノデアル、デアルカラズハ今日我ガ帝國ノ財政ノ上カラ一大國難ニ遭遇シタノデアルカラ、此國難ヲ突破スルニハ是ダケノ犠牲ハ國民ハ拂フ覺悟ヲシナケレバナラヌ、決シテ帝都復興ノ爲ニ此金ヲ拂タカラシケ國ガ亡ビルト云フヤウナコトハ吾々ハ論ジナイケレドモ、茲ニ廟堂ノ諸公ニ私共ガ特ニ注意ヲ致シタイ點ハ、我國ノ國力カラ見マシテ十五億ノ金ハ一人當リ三十圓デアル、三十圓ヅ、ハ五千万ノ國民カラ悉ク搾取シテ、サウシテ東京市ニ之ヲ持テ來ルノデアル、否デモ應デモ三十國ハ日本ノ全國民ガ東京市ニ震災ノ見舞ヲ出ス——詰リ搾取ヲサレタコト三十九ノデアル、我ガ帝國ノ國力ノ上ニ於テ十五億ノ金ヲ今後數年間ニ帝都集中スルト云フコトニナツタナラバ、如何ニ言葉功ミニ大藏當局者ガ論ジテモ、財政當局者ガ如何ニ之ヲ明快ニ論竝シテモ、公債ニ依テヤルノダカラ一般施設、即チ地方事業ニハ影響ヲシナイ、鐵道ニモ港灣ニモ影響ハシナイト言フケレドモ、是ハ右ヲ行クモ左ヲ行クモ同ジ事デアル、十五億ノ金ニ付テハ利子モ拂ハナケレバナラヌ、償還モシナケレバナラヌ、是ハ何處カラ持テ來ルカト云ヘバ、一般會計ヲ財源トスルヨリ外ニ途ガナイ、サウスルトヨリドノヤウニシテモ拂フダケノモノハ拂ハナケレバナラヌノデアルガ、此今日ノ國力ニ於テ十五億圓餘ノ負擔ヲ吾々ガ負フト云フコトハ、非常ニ大ナル犠牲デアルト、吾々ハ考ヘテ居ル、此場合ニ於テ當局者ノ御一考ヲ煩ハシタイ點ハ、今我ガ帝國ノ狀況ヲ見マスレバ、各黨各派ヲ通じテ實ニ農村

問題ハ殆ド行詰リヲ生ジテ、困憊疲弊ノ極ニ達シテ居ルト云ヒマスルガ、私ヲシテ言ヒヤ「拍手」廟堂諸公ハ是等ニ對シテ連日豫算總會其他ニ於テ耳ヲ藉シタコトデアラウト思ヒマスルガ、併ナガラ廟堂諸公ハ眞ニ農村ノ狀態ヲ知ラナイト私ハ思フ「拍手」何故知ラナカラウカト云ヘバ、妙ナ話デアリマスルガ大阪ノ鴻ノ池ノ旦那ガ三條ノ大橋デ乞食ヲ見テアレハ何ダト言フタ、アレハ生活出来ナイ乞食デアルト云フコトヲ聞イテ、幾ラ乞食デモ千兩箱ノ一ツ位アルダラウト鴻ノ池ノ旦那ガ言ウタ（笑聲起ル）廟堂ニ諸公ハ眞ニ農村ノ窮迫セル事情ト云フモノハ體驗ヲシテ居ラレスカラ、恐ラク分ルマイト思フ（拍手）況ヤ我國ノ農村問題ガ、經濟問題カラ漸次惡化シテ思想問題トナリ、社會問題トナツテ、將ニ我が國本ノ基礎ヲ危ウセントスルヤウナ恐ルベキ狀態ヲ現シテ居ル（ヒヤー）（拍手）吾々ハ不祥ナ事ヲ申スノデハアリマセヌガ、古來革命ハ――私が茲ニ革命上云フノハ日本ニ於テハ更ト云フト、土地ヲ問題ニシナイデ革命ノ起ツフ所ノ革命ハ眞ノ革命デアリマスルガ――古タコトハナイ、都會ノ社會問題、勞働問題ト來革命ノ歴史或ハ動亂ノ歴史ヲ繙イテ見マスト云フモノハ重大デアルケレドモ之ニ依テ始一新ノ意味ト御承知ヲ願ヒタイ、西洋ニ謂ハ國家ハ亡ビナイケレドモ何レノ場合ニモト云フモノハ破壊セラレルノデアル（ヒヤヒヤ）即チ詳シイ事ヲ申上ゲル必要ハナイガ、千七百八十九年ノ佛蘭西ノ革命ニ於テト云フモノハ破壊セラレルノデアル（ヒヤヒヤ）即チ詳シイ事ヲ申上ゲル必要ハナイモ、土地ガ基デアル、又獨逸、奥地利ノ革命を矢張土地ヲ問題ニシテ起テ居ル、又最

モ著シイモノハ千九百十七年、最近露西亞ノ
革命ハ何デアルカ、露西亞ノ革命ハ即チ勞
ニシテ亡ビタノデアル、即チ國家ノ革命、動
亂ハ總ア土地ヲ以テ出發シテ居ル、我國ノ
古來カテノ歴史ヲ見マシテモ、大化ノ革新
ハ何デアルカ、大化ノ革新ハ即チ土地制度
ノ問題デ、土地ヲ均分スルト云フ根本觀念
ニ出發シタルモノデアル、又鎌倉ニ於ケル
所ノ幕府ノ時ニハドウデアルカト云ヘバ、
莊園ヲ廢シテ莊園ノ土地ヲ取上げテ、實際
耕ス者ニヤルト云フ制度ヲ賴朝ガ樹立シタ
ト云フノガ根本トナシテ、武權制度——鎌倉
幕府ヲ開イタ、又建武中興ノ歴史ヲ見マシ
テモ、或ハ又最近維新ノ歴史ヲ見マシテモ
一番能ク分ル、私ハ大和ノ十津川ノ者デアリ
マスルガ、明治維新ノ一番最初ノ烽火ヲ揚
ゲタ所ハ、私ノ國ノ大和十津川ノ天誅租デ
アル、此天誅組ガ起ラタ時ニ、一番最初ニ代
官ヲ殺シテ高取城ヲ奪ンタ(ソレガ豫算三何
ノ關係ガアル)ト呼フ者アリ其他發言者多
シ)

地——農村問題ヲ外ニシテ軍事ノ問題モアリマセヌ、思想問題モ、教育問題モ、悉ク此農村ヲ根柢ニシテ出發シナケレバ國家ハ保タナイノデアル（拍手）「ヒヤー」（拍手）私ハ廟堂ノ諸公ガ此點ニ付テ深ク留意シテ、我ガ帝國ノ前途ヲ誤テザルコトヲ希望スルノデアル（拍手）然ルニ此場合ニ現内閣諸公ガ、農村問題ニ付テ何等觸レテ居ナイト云フコトヲ政友本黨ノ諸公ハ屢々言ハレルニデアル、ケレドモ是ハ諸君ノ言ノノが間違テ居ルト思フ、現内閣ハ六月十一日三大命ヲ受ケテ僅ニ二週間ニシカナラヌ、此間ニ何ガ出來ルカ、出來ヤウハナイ（拍手）「ノーノーサキノ議論ヲ裏切ルヂヤナイカ」ト呼フ者アリ）裏切ルノデハアリマセヌ——故ニ吾々ハ茲ニ農村問題ト致シマシテ、爛頭焦眉ノ急トシテ叫フ者ガ三ツアル、第一ハ農民ノ負擔ノ過重ニ苦シム所ノ此負擔ノ輕減ガ題目ノ一ツデアル、第二ハ米價ヲ調節シ之ヲ維持シテ、米麥ノ生産費ヲ償フト云フコトガ一ツ、第三ニハ農務省ノ獨立ト云レコトガ一ツ（拍手「ヒヤー」）此三ヶ即チ今日ノ農村ヲ救濟スル所ノ爛頭焦眉ノ急デアル、之ニ對シテ吉植君ノ如キハ眞向ヨリサウ云フコトハヨットモヤラナイ、嘘ダ、斯ウ云フコトヲ言フ、現内閣ハ農村ニハ少シモ及バナイ、是ハアナタ方ガ理想的ノ在野黨デナイ、反對センガ爲ニ反對スルノデアリマス、政府ハ其證據ニハ豫算總會デモ、或ハ本會デモ屢々此事ニ觸レテ居ル、而モ我ガ農相高橋君ノ如キハ、多年米價調節下此問題ニ苦心シテ、農務省ノ獨立ノ如キハ高橋總理自身自ラ聲明シタ事實ガアル、必ずアリマス、政府ハ其證據ニハ豫算總會デモ、此次ノ四十九議會ニ行フト云フノデアル、必ズヤルト言ウテ居ル（脱線シタカ）ト呼ブ者アリ）馬鹿ナコトヲ言フテ居ル、必ズ

ヤルト言ナ居ル必ズ行政整理ヲ以テ
ヤル、唯形式上ダケデハ何ニモナラ
ナイカラ名實ヤルト云フノデアル、米
價調節ハドウシテヤルカト云フト、米價
ハ今マデ數回ノ内閣ガ量ニハ重キヲ置クナ
レドモ價格ハ一向構ハヌト言テ居ル、之ヲ
ラヌ、之ハ一進歩ト言ハナケレバナラヌ、
リデハイカナイ、價格モ調節シナケレバナ
ラナイ、之ハ大ナル進歩ト言ハナケレバナ
ラヌ、之ハ一進歩ト言ハナケレバナラヌ、
先ヅ諸君ハ人ヲ責メル前ニ自分ヲ責メルガ
宜シイ、諸君ハ負擔ノ輕減、地租委譲ト云
フコトヲヤカマシク言フ、吉祐君ノ如キハ
最モ熱心ニ此議論ヲシテ居ルガ、諸君ノ一
番後ニ絲ヲ引イテ居ル所ノ山本君ガ、是ハ
消極的ノ一點張、極メテ消極論者デアリマ
ス、米價調節ノ如キハ價格ニ於テハドウシ
テモヤレナナト云フコトハ誰ガ言タ、山本
農相ノ年來ノ持論デハナイカ、ソンナ馬鹿
ナコトヲ言フモノデナイ、世間ガ笑フ、又
負擔ノ輕減租稅ヲ輕減シテ地租ノ委譲ヲシ
ナケレバナラヌト云フコトヲ吾々が言出シ
タ時ニ、誰ガ反對シタト思フ、君等ガ神様
ト思シテ居ル元田肇君ガ反對シタデハナイ
ク、政務次官ヲ設置スル上云フコトニ付テハ、
官僚ノ床次君ガ同意シナイ、諸君ハ人ヲ責メ
ル前ニ自ラ責メヨ、諸君ハ此内閣ニ政策ガ
ナイ、經綸ガナイト言テ諸君ハ議論スル
ケレドモ、諸君ニ經綸ヤ政策ハ要ル譯ハナ
イ、何故要ル譯ガナイカト云フ證據ヲ茲ニ
示サウ、清浦ト云フモノハ六箇月在任シタ、
所ガ議會ヲ一ツモ召集セズ、議會ニ一ツノ
政策、政綱ヲ示サズ、議會ヲ召集シテ國民ニ
何ノ政策政綱ヲ示シタカ、清浦内閣ハ政策
ハ何ガアッタカ、君方ハ之ヲ頻ニ言シテ居ル
ガ、政策モナケレバ政綱モナク、閣カラ間

ニ議會ヲ解散シテ、特權階級ノ足輕ヲ志願シタデハナイカ、(此時「議長」ト呼ヒ綸ノ實況ヲ見テ、サウシテソレヲ明カニシテ、我カ内閣ニ信賴シテ、我ガ内閣ノ經綸ヲ待テ暫ク此提案ニ贊成ヲ表スルモノデアリマス——只今議長ノ注意ニ依リマシテ特權階級ノ足輕ヲ志願シタト云フコトダケハ取消シテ置キマス

ニナリ、且ツ十分ノ機関ヲ有スル憲政會ノコトデアリマスルガ故ニ、國民ハ之ニ對シテ多大ノ希望ヲ繫イダト云フコトハ、必ズシモ無理デナイト思フノデアリマス、所ガ前内閣ノ作製致シマシタル追加豫算ヨリ僅ニ削リマシタルモノガ、司法警察官費、神祇院費、農務省獨立費、是等ノ小額デアリマシテ、是等ノモノト雖モ、又近キ將來ニハ其額ヲ増加致シマシテ必ズ議會ニ繫屬スルモノデアラウト思フノデアリマス、故ニ此内閣ノ清浦内閣ノ實行豫算十三億四千万圓及二億六千七百万圓ト云フ、先程ノ豫算委員長ノ報告サレマシタル日本帝國空前ノ厖大ナル豫算ヲ四十九議會ニ繫屬ヲ致スト云フコトハ、是ハ爭フベカラザル事實デアリマス、ソレデ本貞ガ本會議ニ於キマシテ平素財政ノ緊縮ヲ一枚看板トサレテ居リマスル諸公ガ、斯ル大キナル豫算ヲ議會ニ較覈セシメルト云フコトハ、如何ニモ國民ニ對シテキマリガ惡イ事デアリマセヌカト云フ同情アル質問ニ對シマシテ、流石ニ大藏大臣ハキマリノ惡カタモノト見エマシテ、清浦内閣ノ實行豫算ヲ踏襲シタル覺エナシト此壇上ニ於テ明言シタノデアル、是ハ大藏大臣ト致シマシテハ、甚ダ詭辯デアリマス凡ソ十三年度ノ歲入ハ何ナリヤト問ヘバ、形算デナケレバナラナイノデアル、故ニ此二億六千七百万圓ト云フ追加豫算ハ、取りモ直サズ清浦内閣ノ實行豫算十三億四千万圓ニ追加致シテ來ルモノデアリマスカラ、假令施行豫算ハ形式デアッテモ、實行豫算ヲ踏襲シタル覺エナシト云フヤウナコトハ、ソレハ單ナル理論デアリマシテ、實際ハ此帝國

議會ニ擊屬致シテ居ル豫算ハ、即チ二億六千七百万圓デアル、而シテ此吾々ノ負擔スル追加豫算ヲ加ヘマスルト云フト、十六億三千万圓ノ大豫算ヲ吾々ハ負擔シナケレバナラナイノデアリマス、此故ニ委員會ニ於キマシテモ、數回ノ質問應答トナリマシテ、結局ハ現内閣ノ諸公モ是等ノ點ヲ認メマシテ、此實行豫算モ施政ノ方針若クハ財政計畫ノ演説ノ中ニハ、此實行豫算ニ對シテ削減ヲシ、或ハ繰延ベルト云フコトハ言明シナカッタケレドモ、將來政務ノ運行ノ上ニ於テ、必ず節約ヲ加フベシト云フコトヲ申サレタノデアリマス、ソレカラ此公債政策ニ於キマシテモ、公債打切り或ハ公募ノ打切り、ナドト言フテ洵ニ體裁ノ宜イ、耳觸リノ宣イコトヲ申シテ居リマスガ、併ガラは豫算委員長毛申シマシタ通り、前内閣ニ於テ募集致シテアツ所ノ外債ノ金ガ此ニ在ル、ソレカラ將來郵便局小口デ募ル所ノ小口債券ガアリ、預金部ニハ金ガアル、剩餘金ガアリ、要スルニ有ルニ委セテ捆ミ出シテ、只今計畫ヲ立テタダケノ御詫デアリマシテ(ヒヤー)調金ノ氣苦勞モ要ラナケレバ、將來ノ財源ニ對スル何等ノ苦勞ヲモ須ギズシテ、有ルモノヲ捆ミ出シテ財政デヤルト云フノデアツテ、其日暮シノ財政計畫ト申シテ何等之ニ辯解ノ言葉ハ無イノデアリマス、併ナガラ已ムヲ得ナイノデアテウケレドモ、實際有ルモノヲ捆ミ出シテ計畫致シタル財政計畫デアルコトハ、是ハナガラ私等ハ現下ノ時局ニ鑑ミマシテ、何否認スルコトハ出來ナイノデアリマス、併

ニシテ、極メテ難局デアラウト思フノデアル、此難局ニ立テ政務ニ當ラレル諸公ノ勞ヲ多トスルモノデアル、且ソ内閣諸公ハ、殊ニ大藏大臣ハ、豫算委員會本會議等ニ於ケル屢次ノ聲明ヲ、吾々ハ保證ド致シマシテ、暫ク之ニ時日三藉サウスルノデアリマス、所デ茲ニ斷然反省ヲ促サナケレバナラナイモノハ、即チ政務次官設置ノ計畫デアル之ニ對スル豫算ノ要求デアリマス、是等ハ何トシテモ現内閣トシテハ之ヲ撤回シ、之ヲ削除スル所ノ計ニ出デナケレバナラナイノデアル、何ガ故ニ此政務次官ヲ設置スルノデアルカ、其理由ヲ吾々ハ聽カントスルノデアルガ「未ダ分ラナイカ」「頭ガ惡イカラダ」ト呼フ者アリ

ナイノデアル、政務ノ繼續性ハ局長以下ニ於テ十分之ヲ保障スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、斯様ナ事ヲ考ヘテ居ルコトハ杞憂ニ過ギナイノデアル、政務次官ヲシテ議會ニ答辯セシムルト云フガ如キコトハ、政府ノ方針ヲ述べサスト云フコトヲ申ス如キハ、是ハ全ク議會ノ實際ヲ知ラザル者ノ云フコトデアル、私ノ考ヘル所ニ依リエスト、私ハ此議會ニ於テハ「誰モ聽イテ居ラヌオ前サン計リダ」ト呼フ者アリ) 静ニシロ此議會ニ於テハ大臣ト局長以下トデ宜シノデアル、大臣ト局長以下サヘアレバ、ソレデ議會ノ仕事ト云フモノハ全部出来ル、是ハ政務次官が必要デアラザルノミナラズ、現在ノ次官モ必要デナイノデアル、議會ニ於テハ大臣ト局長以下トデ澤山デアッテ、大臣ト次官ト二人居ルト云フコトハ、既ニハ行政整理ヲシナケレバナラニ點デアル、政務ノ大綱ハ、只今ノ大臣ガ、一面ニ於テハ國務大臣デアルト同時ニ、一面ニ、於テハ行政部長官デアルカラ、此行政部長官デアル所ノ大臣ガ、國務ノ大綱ハ知ラナイト云フコトハナイノデアル、遞信大臣大養先生デモ、自分ノ遞相タリシ當時、郵便切手ニ糊ヲ著ケナカッタ郵便切手ヲ賣出シタコト、小サナ端書ヲ賣出シテ國民ニ迷惑ヲ掛ケタコト、此等ノ事ハ御承知デアルト見エテ、屢々委員會ニ於テ、アレハ宜シクナイカラ、エテ局長及事務官ニ聽イタ方ガ明瞭ニナルノデアル、是ハ矢張英吉利ノヤウニ、大臣ガ居レバ次官ガ要ラナイ、次官ガ居レバ大臣ガ

要ラナイ、全ク無用ノ事デアル(發言者多シ)
○議長(柏谷義三君) 静出ニ願ヒマス

○中村啓次郎君(續) 之ヲ當議會ニ於テモ、小野義一サンヨリハ、或ル場合ニ於テハ濱口大藏大臣ノ方ガ事務ニ精通ヲ致シテ居ルノデアル、而シテ前内閣ニ於テモ、前ノ水野内務大臣ハ、或ル場合ニ於テハ井上モ、小野義一サンヨリハ、或ル場合ニ於テモ、小野義一サンヨリモ川村次官ヨリモ、細カイ所ニ通曉致シテ答辯ヲ與ヘタ事實モアルノデアル、故ニ此議會ニ於テハ、大臣ト局長以下ノ者ガアレバ、議會ノ答辯ハ十分デアツテ、現在ノ次官ガ居ルト云フコトサヘモ不必要ナ事デアルカラ、政務次官ノ如キモノヲクルガ如キコトハ、全ク躊躇ヲ加ヘルモノト謂ハナケレバナラヌ、此上ニ政務次官ト云フガ如キ豪傑ヲ持テ來ルト云フコトニナレバ、一段ト局長以下ノ事務官ヲ煩ハスコトガ多クナッテ、事務ノ紛更ト事務ノ煩雜ヲ招クコトニナルコトハ明カナノデアル、尙ホ今一ツアナタ方ニ事實談トシテ、前ノ參政官ノ設置サレシ當時ノ御詰ヲ致シテ見タ、其攻撃ヲ致シタ所ノ其反對黨ノ内閣ノ垣陸相ノ前内閣ノ國務大臣デアツテ、而シテ清浦内閣ガ特權内閣ナリトシテ攻撃ヲ致シタ、其攻撃ヲ致シタ所ノ其反對黨ノ内閣ノ垣員ニナツタト云フコトハ之ニ對シテハ如何ナル憲法上ノ考フ持テ居ルカト云フ質問ニ對シテ、加藤萬明子ハ、宇垣陸相ハ一字垣中將ハ適材ノ人ダカラ之ヲ陞下ニ推轍致シテ、留任ヲ請ウタノデアルト答辯致シテ居ル、國務大臣ノ立場ハ、アタナ方ハ只今政務次官ヲ置クコトヲ主張致シテ居ルヤウニ、國務大臣ノ立場ハ前内閣ノ主義主張ノ上ニ立ツテ、而シテ其内閣ヲ倒壊セシメナケレバナラナイト云フ憲法上ノ見地ヨリ起テ、倒閣ヲ努メタル所ノ其内閣、全ク主義ノ異ル内閣ニ依然トシテ居ルト云フコトハ、恰モ朝ニ越路ノ客ヲ送リ、タニ筑紫ノ客ヲ迎ウル所ノ賣笑婦ト同ジ立場デアル、斯ノ如キ立場ニアルニ於テハ縱令適材デアル、才幹技能ガ如何ニ長ジテ居ラテモ、ソシテモ、才幹技能ガ如何ニ長ジテ居ラバ——權力ヲ持シテノモノデアルト云フコトハ言ヒ得ルノデアル——

認メルト云フコトハ言ヒ得ルノデアル——言ヒ得ルコトデアルケレドモ、如何ニ事務官ノ恒久性ヲ認メナ人デアル、成程事務官ノ恒久性ヲ認メルト云フコトハ言ヒ得ルノデアル——アル、ソレカラ加藤首相ハ事務官ノ恒久性ヲ立ツテ居ルノデアリマス、其意味ヨリ言ヘバ、モノデナイン、又政務官ハ恒久的ノモノノデアルト云フ、此解釋ニ於テハ、政務官ト雖モ必ずシモ内閣ト共ニ更ル必要ハ無イノデアルカラ、現内閣ノ次官ハ、現在ノ内閣ノ更迭ト同时ニ更ラナクテモ宜シト云フ主張ノ上ニデアル、此政務官ノ國務官若クハ事務官ニ對シテ、國務官事務官ハ必ズシモ一時的ノモノデナイン、又政務官ハ恒久的ノモノノデアルト云フ、此解釋ニ於テハ、政務官ト雖モ必ズシモ内閣ト共ニ更ル必要ハ無イノデアルカラ、現内閣ノ次官ハ、現在ノ内閣ノ更迭ト同时ニ更ラナクテモ宜シト云フ主張ノ上ニデアル、此政務官ノ國務官若クハ事務官ニ對シテ、國務官事務官ハ必ズシモ一時的ノモノデナイン、又政務官ハ恒久的ノモノノデアルト云フ、此解釋ニ於テハ、政務官ト雖モ必ズシモ内閣ト共ニ更ル必要ハ無イノデアルカラ、現内閣ノ次官ハ、現在ノ内閣ノ更迭ト同时ニ更ラナクテモ宜シト云フ主張ノ上ニデアル、此政務官ノ國務官若クハ事務官ニ對シテ、國務官事務官ハ必ズシモ一時的ノモノデナイン、又政務官ハ恒久的ノモノノデアルト云フ、此解釋ニ於テハ、政務官ト雖モ必ズシモ内閣ト共ニ更ル必要ハ無イノデアルカラ、現内閣ノ次官ハ、現在ノ内閣ノ更迭ト同时ニ更ラナクテモ宜シト云フ主張ノ上ニデアル、此政務官ノ國務官若クハ事務官ニ對シテ、國務官事務官ハ必ズシモ一時的ノモノデナイン、又政務官ハ恒久的ノモノノデアルト云フ、此解釋ニ於テハ、政務官ト雖モ必ズシモ内閣ト共ニ更ル必要ハ無イノデアルカラ、現内閣ノ次官ハ、現在ノ内閣ノ更迭ト同时ニ更ラナクテモ宜シト云フ主張ノ上ニ

トハ甚ダ遠フノデアル、政治上ノ節操ニ於テスノ如キ事ヲ容サナイノデアル、憲法運用上ノ原則ニ於テハ、斯ノ如キ事ヲ容サナラヌ、即チ參政官モ悉ク議會ニ行キ、事務官モ悉ク議會ニ行キ、而シテ獨リ事務次官ガボツネントシテ其省ヲ留守シタ、何タル奇觀デアルカ、斯様ナル事ヲ爲サシメズ、各其事務ヲ敏速ニ運行スル所ノ策ヲ講ズルコトガ、是ガ即チ行政整理ノ大眼目デナケレバナラヌノデアル、全ク政務次官ヲ置クガ如キハ「百害アツテ一利ナキモノデアル、殊ニ加藤首相ハ、政務官ト雖モ内閣ト共ニ更迭スルノ要ナシト云フ議論ヲ持テ居ル人デアル、是ハ此間松田源治君ガ陸軍中將宇垣陸相ノ前内閣ノ國務大臣デアツテ、而シテ清浦内閣ガ特權内閣ナリトシテ攻撃ヲ致シタ、其攻撃ヲ致シタ所ノ其反對黨ノ内閣ノ垣員ニナツタト云フコトハ之ニ對シテハ如何ナル憲法上ノ考フ持テ居ルカト云フ質問ニ對シテ、加藤萬明子ハ、宇垣陸相ハ一字垣中將ハ適材ノ人ダカラ之ヲ陞下ニ推轍致シテ、留任ヲ請ウタノデアルト答辯致シテ居ル、國務大臣ノ立場ハ、アタナ方ハ只今政務次官ヲ置クコトヲ主張致シテ居ルヤウニ、國務大臣ノ立場ハ前内閣ノ主義主張ノ上ニ立ツテ、而シテ其内閣ヲ倒壊セシメナケレバナラナイト云フ憲法上ノ見地ヨリ起テ、倒閣ヲ努メタル所ノ其内閣、全ク主義ノ異ル内閣ニ依然トシテ居ルト云フコトハ、恰モ朝ニ越路ノ客ヲ送リ、タニ筑紫ノ客ヲ迎ウル所ノ賣笑婦ト同ジ立場デアル、斯ノ如キ立場ニアルニ於テハ縱令適材デアル、才幹技能ガ如何ニ長ジテ居ラバ——權力ヲ持シテノモノデアルト云フコトハ言ヒ得ルノデアル——言ヒ得ルコトデアルケレドモ、如何ニ事務官ノ恒久性ヲ認メナ人デアル、成程事務官ノ恒久性ヲ認メルト云フコトハ言ヒ得ルノデアル——アル、ソレカラ加藤首相ハ事務官ノ恒久性ヲ立ツテ居ルノデアリマス、其意味ヨリ言ヘバ、モノデナイン、又政務官ハ恒久的ノモノノデアルト云フ、此解釋ニ於テハ、政務官ト雖モ必ズシモ内閣ト共ニ更ル必要ハ無イノデアルカラ、現内閣ノ次官ハ、現在ノ内閣ノ更迭ト同时ニ更ラナクテモ宜シト云フ主張ノ上ニデアル、此政務官ノ國務官若クハ事務官ニ對シテ、國務官事務官ハ必ズシモ一時的ノモノデナイン、又政務官ハ恒久的ノモノノデアルト云フ、此解釋ニ於テハ、政務官ト雖モ必ズシモ内閣ト共ニ更ル必要ハ無イノデアルカラ、現内閣ノ次官ハ、現在ノ内閣ノ更迭ト同时ニ更ラナクテモ宜シト云フ主張ノ上ニ

今又將ニ更迭ヲ見ントスル此實事ヲ吾々
ハ見テ居ルノデアル、故ニ此事務官ヲ恒久的
ナラシムルト云フコトハ言ヒ得ルコトデアッ
テ、行ヒニ至テハ如何様ニモ其恒久性ヲ優
ケ得ルモノデアルト云フコトヲ言ハナケレ
バナラヌノデアル、今ヤ國民ノ奢侈ヲ戒
メントシテ、昨日ヲ以テ奢侈品ノ關稅ヲ創
設セントシテ居ルノデアル、苟モ 天皇
ヲ輔弼シ、道德的ノ施設ヲ以テ國民ニ臨マ
ントスル者ハ、政府自ラ範ヲ國民ニ示サナ
ケレバナラナイノデアル、此秋ニ當テ内閣
組織後未ダ一紙半錢モ整理ニ依リ以テ國民ニ
ニ寄與スル所ナク、一厘半錢モ國民ニ寄與
スル所ナクシテ、而シテ茲ニ斯ノ如キ冗官ヲ
設ケ、政府自ラ奢侈品ヲ陳列シテ國民ニ
臨ミ、斯ノ如キ冗官ノ費用ヲ要求シタト云
フコトハ、容スベカラザル事デアル(拍手)
現内閣ノ諸公ハ、其言ハ甚ダ壯デアルケレ
ドモ、其行ニ至テハ甚ダ怯デアルコトヲ國
民ガ冷笑スルノデアル、殊ニ本員ノ悲ム所
ハ、斯ル冗官ノ費用ヲ衆議院ニ要求スルニ
當リマシテ、未ダ其基礎法デアル所ノ政務
次官官制ノ制定ヲ見ズシテ、其豫算ヲ要求
致シタルコトデアリマス、先程松田源次君
ノ質問ニ總理大臣ハ答フル能ハズ、未ダ政
務官々制ト云フモノガ出來テ居ナイノデア
ル、政務官々制ニ付テ一定ノ意見モ持テ
居ナイ、政務官ノ官制ガソレガ基礎トナッ
テ、其基礎ニ依テ豫算ヲ要求スベキデア
ル、今日行政整理ヲ行ハントスル内閣ニ於
過シテモ、確定シタル此豫算ハ全ク無駄ニ
ナルノデアル、即チ要ラナイ金ニナルノデ
アル、要ラナイ金ニナツタ場合ニハ、此金ヲ
溢費スル上云フヤウナ事ヲカラシメルコト

タガ、斯ノ如ク十六億ヲ超ユル豫算ハ、我國ニ於テハ未ダ嘗テ見ザル所デアリマス、尙ホ十三億五千萬ル經費全部ヲ除イテモ、尙ホ十三億五千萬ヲ超エルノデアリマス、財政行政ノ整理緊縮ヲ要スル今日ニ於テ、斯ノ如キ厖大ナル豫算ニ對シテハ、容易ニ協賛ヲ與フベキ筈ノモノデハアリマセヌ、此間ニハ深ク攻究ヲシナケレバナラヌ筈デアリマスルケレドモ、實ハ此十六億幾ラト云フ總豫算中、實行豫算ニ付テハ、吾々ハ何等容喙ノ權利ガアリマセヌ、實行豫算ハ何等此議會ニ提案サレテアリマセヌ、デアリマスカラ十六億幾ラト云フ此厖大ナルモノ、中、僅ニ追加豫算ノ二億六千万幾ラニ付テノミ吾々ノ審査權ガアルノデアリマス、而シテ此追加豫算中、大體ニ於テ復興ハ避クベカラザルコトデアッテ、隨テ已ムヲ得ザル費用トシテ吾吾ハ認メヘキモノデアルト信ジマス、唯、政府ニ於テハ、宜シク我國刻下ノ現況ニ鑑致シマシテモ、十分ナル整理緊縮ヲ行テ、政府ニ於テハ、是ダケノコトハ政府ガ努メナケレバナラヌ、心掛ケナケレバナラヌモノデアルト私ハ信ジマス、デ幸ニ加藤總理大臣ハ豫算ノ總會ニ於テ、吾々ノ同志大口喜六君ノ質問ニ對シテ、行政財政ニ就テ根本的整理ヲ行フト云フコトヲ斷言シタノデアリマス、當時大口君ノ質問ハ斯ウ言ツタ、吾々ハ同志一人ガ入閣セルノ故以テ、必シモ豫算ニ同意ヲスル者デハナイ、眞ニ政府ガスルナラバ援ケルガ、然ラザレバ反対ヲスル、斯ウ云フコトヲ質問シタ時ニ、總理

大臣ハ内閣ニ於テハ根本的ノ行政整理ヲスルト云フコトヲ斷言致シテ、吾々ノ多年ノ唱道ト一致ヲスルコトニナツタ、此點ニ就キマシテ此豫算ニ協賛ヲ與ヘテ吳レト云フコトヲ明サレテ居ルノデアリマスカラ、吾ガハ現内閣ヲ信ジ、内閣ノ言質ヲ得タ云フ多年唱ヘタル行政財政ノ整理緊縮、此事ハ現内閣ニ於テ断行ノ出來ルモノデアル、吾々ハ現内閣ヲ信ジ、内閣ノ言質ヲ得タ云フコトヲ満足シテ、茲ニ本豫算ニ對シテ贊成ヲスル者デアリマス、唯、此際賛成ハ致シマスガ、政府ニ對シテ一應私共ノ所見ヲ述べ置キタイ、吾々實ハ政府ノ聲明ヲ信ジ、政府ニ期待ヲ置イテ此經費ニ承諾ヲ與ヘマスモノ、我國刻下ノ現狀カラ見マスト、斯ノ如キ經費ヲ以テ斯ノ如キ財政ヲ行フコトニ付テ、極メテ吾々ハ憂ヲ懷ク者デアリマス、是ハ私共詳シク申ス必要モアリマセヌ、唯順序トシテ一言ダケ申シテ置キマスガ、極メテ憂フベキ經濟状態ト考ヘル、今ノ貿易關係ハ、御承知ノ通り輸入超過デアリマス、ハ私共詳シク申ス必要モアリマセヌ、唯隨テ在外正貨ハ漸々ニ減テ來テ、只今デハ幾ラニ相成、テ居リマスカ、正確ナ數字ハ思フ、四億幾ラノモノデハナカラウカト私ハ思フ、サウシテ爲替相場モ日々ニ下落ヲ致シ、少シ持直シテハ來タモノ、持直シタシテ居ルノデアル、ソレデ此儘ニ此貿易状債ヲ起スカ、或ハ常ニ問題ニサレル金ノ輸

出解禁ヲヤル、此二ツノ途ヲ採ルヨリ外途
ハナイト思ヒマス、ソレデ吾々ハ金ノ輸出
解禁、是ハ本筋ニ歸ル、本道ニ歸ルモノト
シテ、別ニ之ニ異論ヲ挾ム者デハアリマセ
シテ、スケレドモ、日本ノ今日ノ状況ニ於テ、今
日ノ工業状態ニ於テ、直ニ解禁ヲスルト云
フコトニハ反対ヲ致シマス、今日直ニ之ヲ
解禁ヲシタナラバ、ドント急速力ヲ以テ
流出スルデアリマセウ、ソレト同時ニ内地
ノ此正貨ガ流出スル結果、通貨ノ急激ナル
縮少ヲ見テ、經濟界ニ大變動ヲ來スコトハ
當然デアリマス、是ハ大藏大臣ノ至言ノ如
ク、サウ云フ風デアリマスカラ、何トカシ
ナケレバ此状態ヲ脱却スルコトハ出來ナ
イ、唯、徒ニ悲觀論ヲ唱ヘテ居ルダケデハ
仕方ガナイ、然フハ如何ニシタナラバ宣イ
カ、ドウシタラ宜シカ、私共ハ此際ニ於テ
ハ宜シク此政治ノ局ニ當ル者、政府ニ於テ
極端ナル消費節約ヲ行ヒ、一面ニ於テ極端
ナル消費節約ヲ行フト同時ニ、他面ニ於テ
ハ我國ニ適應シタル産業ノ發達ヲ圖ラナケ
レバナラヌ、即チ吾々が國民黨以來多年唱
道致シマシタ産業立國策ヲ以テ臨ムノ外ハ
ナイト考ヘマス、即チ常ニ諸君カ口ニセラ
ル、農村ノ振興ハ勿論ヤラナケレバナラ
スガ、農村振興ヲヤルト同時ニ商工業ノ
振興ヲヤラナケレバナラス、一面ニ農村ノ
振興ヲ圖リ、他面ニ商工業ノ振興ヲ圖リ、茲
ニ所謂產業立國ノ政策ヲ樹テ、積極方針
ヲ以テ進ム、斯ウ云フコトニスルヨリ外ニ
此先處スル途ハナイト思ヒマス、或ハ此際
十六億幾ラト云フ豫算ガ成立致シ、此間豫
算ノ分科會ニ於テ——大藏ノ分科會ニ於テ
詳細ノ御説明ガアリマシタガ、例ノ清浦内
閣ノ評判ノ外債ヲ募、タ五億五千万圓——
五億四千九百万圓、彼ノ外外債ノ中デ、復興

費ニ使ハレルモノガ一億六千六百万圓程此
方ニ廻テ使ハレルコトニナッテ居ルソウデ
ス、之ガ廻シテ來ルト、十六億ノ豫算ガ確立
スル、斯ウ云フコトニナリマスカラ、中間
景氣ヲ生ズルカモ知レナイ、之ガ出タ其後
ハ極メテ恐ルベキモノデ、由々敷狀態ヲ呈
スルモノデナイカト氣遣ハレル、私ハ斯ウ
云フ際デアリマスカラ、政府タルモノハ宜
シク深刻ナル注意ト、至大ナル覺悟ヲ以テ
此豫算ニ向ヒ、且ツ總テノ事ニ善處サレン
コトヲ望ミマス、要スルニ政府ハ財政經濟
並ニ行政整理ニ關シテハ、大英斷ヲ以テ措
置スルモノデアルト云フコト信ジテ、政
府ニ信任ヲ置イテ本豫算ノ全部ニ賛成致シ
マス(拍手起ル)政務官ノ如キハ、實ハ見様
デハドウデモ言ヘマス、松田君ノ仰シヤル
ヤウニ冗官トモ言ヘヤウ、是ハ見方デアル、
官僚主義カラ言ヘバ、政務官杯上云フモノ
ハアリマセヌ、官僚内閣ニハ政務官ハアリ
マセヌ、政黨内閣ニハ政務官ハ附キモノデ、
現内閣ノ如ク政黨ヲ基礎トシテ政治ヲヤル
モノニハ、政務官ハ附キモノデアリマス、官
僚ヲ歓迎シ、官僚内閣ヲ本尊トスルモノニ
ハ、政務官ヲ置ク趣旨ハ分テ又苦デス、斯
ンナモノハ彼此言フモノデハアリマセヌ、
各、内閣ヲ作ル人ニ依テ、人々ノ流儀ガアル
ノデアリマスカラ、政務官ヲ要ラスト云フ
人モアラウ、或ハ要ルト云フ流儀ノ人モア
ラウ、ソナガナ事ハ彼此言フ問題デナイ
ト思ヒマス(拍手)

○議長(柏谷義三君) 長峰與一君
(長峰與一君登壇、拍手)
十六億幾ラト云フ豫算ガ成立致シ、此間豫
算ノ分科會ニ於テ——大藏ノ分科會ニ於テ
詳細ノ御説明ガアリマシタガ、例ノ清浦内
閣ノ評判ノ外債ヲ募、タ五億五千万圓——
五億四千九百万圓、彼ノ外外債ノ中デ、復興

農村ノ振興並ニ農務省ノ獨立ヲ唱ヘテ居
マスガ、此際ハ此問題ヲ何等首相ノ演説ノ
中ニ加味セラル、ダケノ力ヲ有セラレナイ
カ、私ハ今回ハ政友會ノ諸君ハ、大我ヲ捨
テ、小我ニ就レタル結果デアラウト思フ
豫テ小我ヲ捨テ、大我ニ就クト言ハレマス、
私ハ是非トモ農村ノ振興ノ爲ニ、今回ノ豫算
ニ於テモ、農務省ノ獨立ハ是非決定サルベ
キモノデアルト信ジテ居アタノデアリマス
ガ、茲ニ出デザルノハ、所謂多年ノ主張ヲ
捨テ、政友會ハ遂ニ憲政會ノ都市中心主義ニ
追隨サレタモノデアルト考ヘマス、
即チ都市ノ主義ニセラレタル結果、皆御議
論ハ斯ノ如キ方ニ進ンデ居ルヤウデアリマ
ス、而シテ農村ノ振興ニ付テ、何等計畫ヲ
致サズシテ、而シテ衰頽セル農村ヨリ零細
ノ資本ト稱スルト雖モ、其巨額ニ億ニ達スル
資金ヲ茲ニ中央ニ募集致スト云フコトハ、
之ヲ以テ一面ニ於テハ農務省ノ獨立ヲ圖ラ
ズ、振興ヲ圖ラズ、更ニ此農村ノ廢頽ス
ルガ如キ資金ノ調達ヲスルガ如キハ、潤
ニ矛盾シタル話デアリマス(拍手)而シテ
私ハ資本ヲ徵發スルト云フノデアリマ
ス、普通ノ公債ナラバ、是ハ任意的ニ認募
スルノデアリマス、又小額ナリト雖モ、是
ハ任意ニ應募スルモノデアリマスケレド
モ、此小額ナルモノハ、二億万ノ半額一億
万圓ハ、殆ド空中ニ其公債ヲ失フノデアリ
マシテ、是ハ體裁ハ中々宜シイガ、實際ハ

費ニ使ハレルモノガ一億六千六百万圓程此
ヨリシテ、私ハ政務次官ナルモノハ此主義
ニ合致セザルモノトシテ、絕對ニ反対ヲ唱
スルモノデナイカト氣遣ハレル、私ハ斯ウ
云フ際デアリマスカラ、此事ハ高橋總裁ハ
此豫算ニ向ヒ、且ツ總テノ事ニ善處サレン
コトヲ望ミマス、要スルニ政府ハ財政經濟
並ニ行政整理ニ關シテハ、大英斷ヲ以テ措
置スルモノデアルト云フコト信ジテ、政
府ニ信任ヲ置イテ本豫算ノ全部ニ賛成致シ
マス(拍手起ル)政務官ノ如キハ、實ハ見様
デハドウデモ言ヘマス、松田君ノ仰シヤル
ヤウニ冗官トモ言ヘヤウ、是ハ見方デアル、
官僚主義カラ言ヘバ、政務官杯上云フモノ
ハアリマセヌ、官僚内閣ニハ政務官ハアリ
マセヌ、政黨内閣ニハ政務官ハ附キモノデ、
現内閣ノ如ク政黨ヲ基礎トシテ政治ヲヤル
モノニハ、政務官ハ附キモノデアリマス、官
僚ヲ歓迎シ、官僚内閣ヲ本尊トスルモノニ
ハ、政務官ヲ置ク趣旨ハ分テ又苦デス、斯
ンナモノハ彼此言フモノデハアリマセヌ、
各、内閣ヲ作ル人ニ依テ、人々ノ流儀ガアル
ノデアリマスカラ、政務官ヲ要ラスト云フ
人モアラウ、或ハ要ルト云フ流儀ノ人モア
ラウ、ソナガナ事ハ彼此言フ問題デナイ
ト思ヒマス(拍手)

○議長(柏谷義三君) 作間耕逸君 討論終結ノ動議ヲ提出致シ
マス(拍手)

〔賛成「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(柏谷義三君) 作間耕逸君 討論終結ノ動議ヲ提出致シ
マス(拍手)

〔賛成「賛成」ト呼フ者アリ〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、此
動議ニハ成規ノ賛成ガアルト認メマス、此
動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ討論終結ニ決シマシタ、直ニ採決
ヲ致シマス、先づ修正ノアル豫算案、即チ
第三號及特第二號ノ兩案ニ付テ採決致シマ
ス、此兩案ニ對シテハ、元田肇君ヨリ修正
案提出サレテ居リマス、其修正ノ要旨ハ、第
三號ニ於テ各省ニ瓦ル政務官設置費ノ削除
デアリマス、特第一號ノ鐵道省所管政務官
設置費ニ關スル經費ノ削除デアリマス、此
修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔賛成者 起立〕

○議長(柏谷義三君) 起立少數、修正案ハ
否決サレマシタ、次ニハ右兩案ニ付キマシ
テ委員長ノ報告ニ付テ採決ヲ致シマス、委
員長ノ報告ニ賛成者ノ起立ヲ求メマス

委員長報告ノ通り決シマシタ、他ノ六案ニ付
キマシテハ、別ニ修正ガアリマセヌカラ一括
シテ委員長報告ニ付テ採決ヲ致シマス、委
員長報告ニ賛成ニ諸君ノ起立ヲ求メマス

右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議
決致候此段及報告候也

ニ出テタモノニア、是ハ甚々遺憾テハア
ルケレドモ、實際ニ於テハ之ヲ認メルヨリ
外ニ仕方ガアルマイト云フコトデ、是モ浦
場一致デ可決ニ相成、タノデアリマス、何卒
原案ヲ御承認下サルコトヲ願ヒマス（拍手）
○議長（柏谷義三君）先づ日程第四ニ付テ
採決致シマス、即チ震災善後公債法中改正
法律案、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ア
ラムス

動議ヲ提出致シマス、即チ政府提出朝鮮銀行法中改正法律案、並ニ同政府提出小作調停法案ヲ此際特ニ逐次上程シテ議題ト爲シ、前者ハ第一讀會ヲ開キ政府ノ趣旨辯明ヲ求メ、後者ハ第一讀會ノ續ヲ開キ、委員長ノ報告ヲ求メ各、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス（拍手）

○議長(柏谷義三君) 宣告致シマス、兩案
共委員長ノ報告ノ通り決シマシタ、是ニテ
全部可決確定致シマシタ(拍手起ル)
○議長(柏谷義三君) 是ヨリ先刻後廻シニ
ナツテ居リマシタ日程ニ戻リマス、日程第四
及第五ハ同一委員ニ付託シタ議案デアリマ
スカラ、一括シテ議題ト爲スニ御異議アリ
マセヌカ

大正十三年勅令第四十六號（震災善後二關スル公債發行ノ件）（承諾ヲ求ムル件）委員長

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス
ス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス
○作間耕逸君 直ニ本案第二讀會ヲ開キ、
第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可
決アランコトヲ望ミマス
〔「異議ナシ」呼フ者アリ〕

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、併シテ議題ト致シマス、即チ曰程第四、震災善後公債法中改正法律案、曰程第五、大正十三年勅令第四十六號承諾ヲ求ムル件、右兩案ヲ一括シテ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長頼母木桂吉君

アアリマシテ、此中ニ一億五百万圓ノ復興
貸ニ關スル數字ガ現レテ居リマスルノデ、
此問題ガ主トシテ論議セラレ、重要ナ質問
應答ガアタノデアリマス、而シテ其質問ノ
要項ヲ一括シテ申シマスレバ、區劃整理ニ
付テ色々議論ガアリ、而シテ不備十點モア
ルヤウニ考ヘラレル、政府ハ此區劃整理
此儘遂行スル積リデアルカドウデアルカ、

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕
○議長(柏谷義三君) 作問君ノ動議ニ付テ
御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ
開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
震災善後公債法中改正法律案

第四 震災善後公債法中改正法律案
（政府提出）第一讀會ノ續（委員長報
告）報告書
一震災善後公債法中改正法律案（政府
提出）

此儘遂行スル積リデアルカドウデアルカ、一括シテ簡単ニ申上ダマスレバソレデアリマス、之ニ對シマシテ内務大臣ハ區劃整理ハ無論實行スル積リデアル、併ナガラ選舉セラレタル所ノ區劃整理委員ノ所謂諮詢ヲ

○議長(粕谷義三君) 別ニ御異議ナシト認
メマス、併テ第三讀會ヲ省略シテ、委員長
報告ノ通り可決確定致シマシタ、次ニ日程
第五、大正十三年勅令第四十六號承諾ヲ求
ムル件

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

ノ考慮ヲ拂フト云フ言明ガアツタノデアリマス、之ニ依リマシテ委員ハ満足ヲ致シテ、ソニ京案ヲ全會一致ヲ以テ賛成致シマシタ、ソ

○作間耕逸君　本件ハ委員長報告ノ通り承
諾ヲ與ヘラレシコトヲ望ミマス
○議長(柏谷義三君)　作間君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

第五 大正十三年勅令第四十六號（永
衆議院議長柏谷義三殿
諾ヲ求ムル件）
(委員長報告)

ノ事後承諾案デアリマス、是ハ甚ダ多額ノ
責任支出デアッテ、甚ダ遺憾デアルケレド
セ、併ナガラ其用途ハ公共自治團體ノ震災

○作間耕逸君 議事日程追加ニ關スル緊急

朝鮮内ニ於タルモノヲ凌駕スルヤウニ相成シタノデアリマス、而シテ朝鮮銀行券ハ關東洲及南滿洲鐵道附屬地ニ於テ強制通用力ヲ有シテ居リマシテ、且ツ滿蒙及西伯利亞地方ニ於テ事實上巨額ノ流通ヲ爲シテ居ルコト、朝鮮銀行ノ重要ナル業務ニシテ、内地デアリマスガ故ニ、一般金融上権要ナル位置ヲ占メテ居ルコト等ヨリ見マシテ、現行ノ監督制度ハ其當ヲ得ナイト思ヒマス、加之銀行ノ業務及財產ノ現状ハ大ニ改善シナケレバナラナイ狀態ニ在リマスノデ、旁々同行ノ一般監督ハ、之ヲ大藏大臣ノ權限ニ屬セシムルノガ妥當且ツ必要ト考ヘルノデアリマス、現ニ朝鮮銀行ノ監督ヲ中央ニ移スベシトノ議ガ、議會ニ於テモ屢々問題トナリマシタコトデアリマシテ、今日ハ適當ノ時機ト存ジ、臺灣銀行ニ對スル取扱ニモ鑑ミマシテ、此際朝鮮銀行法ヲ改正シテ、之ガ監督ヲ大藏大臣ノ管掌ニ移スコトノ法案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、速ニ御協賛アランコトヲ希望致シマス(拍手起立)

○議長(柏谷義三君) 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス
右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉
○作間耕逸君 本案ハ委員ノ數ヲ九名トシ、議長ニ於テ指名セラレンコトヲ望ミマス
○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニハ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕
○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ――次ニハ小作調停法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委

員長ノ報告ヲ求メマス――委員長熊谷直太君

小作調停法案(政府提出)

君

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一小作調停法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報呈候也

大正十三年七月九日

小作調停法案委員長

熊谷 直太

衆議院議長柏谷義三殿

(熊谷直太君登壇、拍手起立)

○熊谷直太君 只今議題ニナツテ居リマス

○小作調停法案ノ委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シタコト思ヒマス、本案ハ御承知ノ如ク目下ニ於キマシテ最も重要ナル所ノ法

案ノ一ツデアリマス、此條項ハ一條ヨリ四

十九條ニ亘リテ、他ニ二條ノ附則ヲ持シテ居

ルノデアリマス、本案ノ大體ノ趣旨ハ、此壇

上ヨリ高橋農商務大臣ガ皆サンニ申上ダタ

通リデアリマス併シ之ニ附加ヘマシテ此調

停スル所ノ機関ガ如何ナルモノデアルカ、

性質ヲ帶ビテ居ルカ、如何ナル作用ヲ爲

スカト云フ諸點ニ付テ、御報告ヲ申上ダル

ノハ相當デアラウト思ヒマス、併シ是ハ此

法文ヲ御覽ニナレバ大約分ル法文ニナツテ居

リマス、農事ニ熱心ナル所ノ諸君ニ向ヒマ

シテ、一々斯ウ云フ詳シイ説明ヲスルト云

フコトハ此暑サノ折柄却テ妨害ニ相成ルコ

ス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ所ノ諸點ニ付テ變シテ居リマスルガ、委員會ニ於テ最モ

重要ナル所ノ質問デアリ、意義アル所ノ質問

デアルト云フモノガ出來ルト云フコトハ意義

付テハナリ、此母法タル所ノ小作法ト云フ

モノヲ先づ制定スベキガ順序デアル、此母

法ノ制定セザルノニ、手續法タル所ノ調停

法案ト云フモノガ出來ルト云フコトハ意義

ガ無イデハナイカト云フ質問ガアッタノデ

アリマス、之ニ對スル所ノ政府ノ答辯ハ、成程小作法ト云フモノガ出來ナインニ調停法

致シタリト思フノデアリマス、當委員會ハ二十七名ノ多數ヨリ出來テ居リマス、此委員ノ諸君が此盛暑ニモ拘ラズ、最モ熱心ニテ居リマシテ、是亦諸君ニ御報告ヲスレバ、各委員ガ有力ナル所ノ御質問ヲ下サレタノ

ニ、非常ニ爲ニナルコトト考ヘマスルケレドモ、是ハ載セテ速記ニアリマスルカラシ

テ、委員會ノ速記錄ニ就テ御讀ミヲ願ヒタ

イノデアリマス、本案ハ先年提出セラレマシタ所ノ小作調停法案ニ比較シテ見マスルト

云フト、四ツノ點ニ付テ差異ガアルノデア

ル、其一ツハ區域ヲ制限シタ云フコト、即チ先年ノ小作調停法案ハ區域ハ制限シテ居

ラナカツタ、今度ノハ區域ヲ制限シテ居ルト

云フ点、ソレカラ先年ノハ手數料ヲ取ルト

云フコトニナツテ居リマスルガ、今年ノハ取

ラスト云フ、又法文ノ順序ヲ變ヘマシテ、先

年ノ八條ヨニ二條ニ持シテ行キマシテ、其要領

ヲ得セシメタト云フ、事實上ノ勘解上云フ

モノニ付キマシテハ、總テノ事ニ付テ先づ

勸解ヲ試ミルヤウニ致シマセヌデ、裁判所

ガ認メテ、因シテ以テ都合ノ好イト云フモノ

ニ付キマシテ勘解ヲ爲サシムルト云フコト

ニナツテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ諸點ニ

付テ變シテ居リマスルガ、委員會ニ於テ最モ

重要ナル所ノ質問デアリ、意義アル所ノ質問

デアルト云ウテ、決シテ小作爭議ト云フモノヲ

惹起スルモノデハナリ、小作争議ガ頻々トシ

テ起リ來ル所ノモノハ他ノ原因ニ依ルモノ

デアル、或ハ小作組合ヲ利用シ或ハ其他ノ

方法ニ依シテ農民ヲ煽動スルヤウナコトガ

出來テ來ル、其結果ニ依ルモノデアリマ

シテ、小作調停制度其モノノ罪デナイトコト

ハ明瞭デアルト云フ答辯デアッタノデアリ

マス、ソレカラ本案ノ内容ニ一寸入リマス

ルガ、第二條ニハ「當事者不當ノ目的ヲ以テ

裁判所ハ其ノ申立ヲ却下スルコトヲ得」ト

ガ出来ルト云フコトハ異ナヤウナモノデアルガ、小作法ヲ制定スルト云フコトハ中々困難ノ事デアル、農事ノ状態ト云フモノガ、日本ノ各地域ニ依リマシテ非常ニ異シタ所

ノ状態ニ在ルノデアル、之ヲ一縷メニシテ

ト云フト、大正六年ニハ小作争議ガ八十五件許リノモノガ年々歲々其數ヲ増シマシテ、

大正十二年ニハ千九百七件ノ多數ニ上ツテ居ル、斯ウ云フ風ニ多數ニ上ツテ居ル所ノ小

作争議ト云フモノヲ其儘ニシテ置クト云フコトハ、是ハ容易カラヌ事デアルカラシテ

此調停法案ニ依リマシテ因シテ以テ此救

濟ノ途ヲ講ジナケレバナラスト云フ、故ニ

本案ヲ提出シタノデアルト云フ説明デアル

コトハ、是ハ容易カラヌ事デアルカラシテ

此調停法案ニ依リマシテ因シテ以テ此救

濟ノ途ヲ講ジナケレバナラスト云フ、故ニ

作争議ト云フモノヲ其儘ニシテ置クト云フ

コトハ、是ハ容易カラヌ事デアルカラシテ

此調停法案ニ依リマシテ因シテ以テ此救

云フ條項ガアルノデアリマス、之ニ付キマシテハ委員諸君ヨリ色々ノ質問ガアリマス、政府ハ之ニ對シマシテ第二條ノ此制定ノ目的ハ、其適用ノ範圍ト云フモノハ極メテ狹イノデアル、政府ハ此條項適用ニ付キマシテハ慎重ニ考慮シ、眞ニ調停ノ目的ヲ以テ調停ヲ申出ナイ顯著ナル場合ニ於テノミ却下スルモノノデアルト云フコトデ此點ニ對シマシテハ嚴格ナル政府委員ノ聲明モアッタ位デアリマス、ソレカラ小作官、小作官ト云フト、是マデハ兎角地方ノ理事官ト云フヤウナ者ハ、大學ヲ卒ヘテ二年ノ間縣廳デ稽古ヲヤッタト云フヤウナ人達ガ理事官ニナツテ居ル、ソレデハ小作筆議ノ問題ヲ解決スルニハ足ラヌ、此小作官ナルモノハ農事ニ付テ最モ經驗アル、地方ノ慣習ニ就テ趣味ヲ持ツテ居ルト云フ者ノ中ヨリ特別任用致シマシテ、因ツテ以テ裁判所ノ意見ニ對シマシテ参考ノ意見ヲ陳述シ、或ハ取調ヲスルト云フヤウナ、裁判官ノ不足、調査委員ノ不足ノ點ヲ補フノ効ヲ爲ス重要ナルモノデアルノデアリマス、此小作官ノ任命ニ付キマシテハ、委員諸君ヨリハ種々ナル希望モアリマシタガ、政府ハ此任命ニ付キマシテハ、成ベク委員諸君ノ希望ニ副フト云フコトノ答務ヲ得タノデアリマス、ソレカラ「贊成シカラ此法案ハ實ニ重要ナル法案デアリマスカラ暫時御清聽ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、其他政友本黨ノ津崎君、憲政會ノ齋藤

君、革新俱樂部ノ湯浅君、政友會ノ堀切君、中正俱樂部ノ山口君等ヨリ、此法ノ適用ニ關シマシテ有力ナル所ノ希望ガアツタノデアリマス、ソレハ本制度ガ出來タカラ、此法律案ガ通過シタカラト云ウテ、農村ノ振興ト云フコトニ付テハ大ナル影響ガ無イ、成ベク早ク此農村振興ニ付テハ徹底的ニ其目的ヲ達スルヤウナ方法ヲ政府ニ於テ講ゼラレタイト云フ希望、大キク摑ンデ言ヘバサウ云フ希望ガアツタノデアリマス、尙ホ此法ノ適用ニ關シマシテハ、病源即チ小作爭議ノ病源ガ何所ニ在ルカト云フコトヲ調停委員會ニ於テハ看破シマシテ、其病源ヲ醫スルヤウナ所ノ調停ヲ得ルコトニ盡力セシムアリマス、願クハ本議場ニ於ケレマシテモ、アリマス、顧クハ本議場ニ於ケレマシテモ、満場一致ヲ以テ本案ノ通過セラレンコトヲ希望スルノデアリマス(拍手起ル)
○議長(柏谷義三君) 賛成演説ノ通告ガアリマス、津崎尚武君

トヲ疑フノデアリマスカラ、此施行ニ當リ
マシテハ其積リデ注意シテ戴キタイト思
フ、此點ニ付キマシテハ只今委員長カラ御
話ガアツタ通りデアリマスガ、何卒本法ノ施
行ニ當リマシテハ、割合ニ地方ノ農民ハ穩
ナモノデアリマシテ、裁判所ニ出頭シテナ
ド争議ヲ殊ニ小作人自身カラ持出スト云フ
コトハムツカシイ事デアリマスカラ、此爭
議ヲ解決スルニ付キマシテ、成ベク行政廳
ヲ顧ミテ之ヲ利用スル上云フコトニ注意願ヒ
タイ點デアリマス、第一ガ小作制度ノ不備ノ
爲ニ争議ガ起ル、ソレデ此母法タル小作法ヲ
制定シテ貰ヒタイト云フコトデアリマス
ガ、此小作法ノ制定ノ困難ナルコトハ只今
委員長カラ御述ニナツタ通りデアリマシテ
ケレドモドウシテ此病根ヲ直サナケレ
バ、此調停法ヲ行シテ根本的ニ治療スルコ
トガ出来ナイカラ、困難ナ事デアリマシテ
モ此小作法ノ制定ヲシテ貰ヒタイト云フコ
トデアリマス、第三ニハ自作農減少ト云
フコトガ争議ノ一原因デアル、ソレデ勢メテ
自作農ノ維持創設ヲシテ貰ヒタイト云フコ
トデアリマス、毎年一万戸許リヅ、ノ自作
農が減少ヲ來シテ居ル日本ノ現状デアル、
之ニ付キマシテハ自作農ノ創設ト云フコ
トニ付テ、前内閣ニ於キマシテ相當ノ計畫ヲ
シテ居ラレタノヲ、現内閣ニ於キマシテ之
云フヤウナ御意見モアツタヤウデアリマス
ヲ中止セラレタ形デアルノデアリマス、二
百万圓位ノ金デ自作農ノ創設ヲシテ行ク
資金ノ利子ニ振充テ、來マシタナラバ、假令
利子ノ補給ニ充テ、來マシタナラバ、假令
二百万圓ノ金デアリマシテモ、毎年遣方ニ
依リマシテハ一万町歩位ノ創設ヲシテ行ク
コトダガ決シテムツカシクナイト思フノデア

リマスサウエーブ詩テアリマスカドトウタ
此點ニ付キマシテ小作爭議ノ病根デアル此
病根ヲ直ス爲ニ、自作農創設ニ付キマシテハ
特ニ御注意ヲ願ヒタイト云フコトデアリマ
ス、第四ニ現在ノ農業經營が極メテ不利デ
アルコトハ、今日詳シキ事ハ申サヌデモ分
テ居ルノデアリマスガ、此經營ノ不利ナハ
ニ顧ミラレテ、此原因ヲ除去スルト云フコ
トニ御盡シヲ願ヒタイ、以上四ツノ希望ヲ
述ベマシテ、吾々ハ本案ハ大正六年以來特
ニ起り来シテ居ル爭議ヲ解決スルニ付キマ
シテ、完全ナ法規デアルト認メルコトハ出
來マセヌケレドモ、有ルハ無キニ優ル、又此
運用ノ如何ニ依リマシテハ相當ノ效果モア
ラウト云フ意味ヲ以チマシテ、而シテ農村
ノ疲弊シタ今日ニ於キマシテ、其根本原因
ヲ直シテ行クト云フコトニ留意シテ戴キタ
イト云フコトヲ希望致シマシテ、本案ニ得
成致スノデアリマス(拍手起立)
○議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開
クニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○議長(柏谷義三君) 異議ナシト認メバ
ス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開
キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通
リ全院一致ヲ以テ可決確定アランコトヲ即
ミマス(拍手起立)
〔異議ナシ〕「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○議長(柏谷義三君) 作間君ノ動議ニハ御
異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開
キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

トマス・サウス云フ謂テアリマスカド、トウダガ此點ニ付キマシテ小作爭議ノ病根デアル此病根ヲ直ス爲ニ、自作農創設ニ付キマシテモ分ノルコトハ、今日詳シキ事ハ申サヌデモ分、居ルノデアリマスガ、此經營ノ不利ナヒベ、第四ニ現在ノ農業經營ガ極メテ不利デ、ニ農家ノ收益ガ少ナイ、其爲ニ此爭議ノ原因ヲ成スノデアリマスカラ、政府ハ此點ニ顧ミラレテ、此原因ヲ除去スルト云フコトニ御盡シヲ願ヒタク、以上四ツノ希望ヲ述べマシテ、吾々ハ本案ハ大正六年以來特運用ノ如何ニ依リマシテハ相當ノ效果モアリシテ、完全ナ法規デアルト認メルコトハ云ノ疲弊シタ今日ニ於キマシテ、其根本原因ノ直シテ行クト云フコトニ留意シテ戴キタクト云フコトヲ希望致シマシテ、本案ニ簽イドト云フコトヲ希望致シマシテ、本案ニ簽成致スノデアリマス(拍手起立)○議長(柏谷義三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議ハアリマセヌカ(「異議ナシ」「異議ナシ」と呼フ者アリ)○議長(柏谷義三君) 異議ナシト認メバ、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ○作間耕逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り全院一致ヲ以テ可決確定アランコトヲ仰開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

○議長(柏谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シ、委員長報告ノ通り可決確定セラレマシタ(拍手起ル)是ニテ本日ノ日程ハ全部議了致シマシタ、次ノ日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、今日ハ是ニテ散會

午後五時二十二分散會

